

2023 年 6 月

# 学生認識／行動調査2022

## 結果報告

学生支援センター

### 目次

調査の概要.....	2
回答率.....	2
1. 入学動機.....	3
2. 自己肯定感.....	5
3. 他学生および教職員との関係.....	7
4. 施設等満足度.....	9
5. 施設等への要望 [自由記述].....	13
6. 学修状況.....	16
7. 授業満足度.....	20
8. DP 達成度.....	24
9. 生活・心身の悩み・経済状況など.....	32
10. 本学への意見等 [自由記述].....	49

## 調査の概要

調査期間：2023年2月15日（水）～3月31日（金）

対象者：学部の1～4年生（休学者を除く）

調査方法：Google Forms を利用した（st アカウントからの回答に限定）。

学籍番号取得式による任意回答とした。

設問数：40問（選択式37問・自由記述3問）

## 回答率

### < 学科別回答者数・回答率 >

学科	日本文学科	中国文学科	英米文学科	教育学科	書道学科	歴史文化学科	社会経済学科	現代経済学科	中国語学科	英語学科	日本語学科
対象者数	613	216	470	483	248	367	812	643	268	834	223
回答者数	67	19	43	35	38	45	62	44	19	75	31
回答率	10.9%	8.8%	9.1%	7.2%	15.3%	12.3%	7.6%	6.8%	7.1%	9.0%	13.9%
学科	法律学科	政治学科	国際関係学科	国際文化学科	経営学科	環境創造学科	スポーツ科学科	健康科学科	看護学科	社会学科	全体
対象者数	889	613	409	358	1415	2	529	314	390	751	10847
回答者数	87	59	28	31	101	1	27	27	32	112	983
回答率	9.8%	9.6%	6.8%	8.7%	7.1%	50.0%	5.1%	8.6%	8.2%	14.9%	9.1%

### < 学年別回答者数・回答率 >

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	全体
対象者数	2674	2856	2669	2648	10847
回答者数	395	248	179	161	983
回答率	14.8%	8.7%	6.7%	6.1%	9.1%

# 1. 入学動機

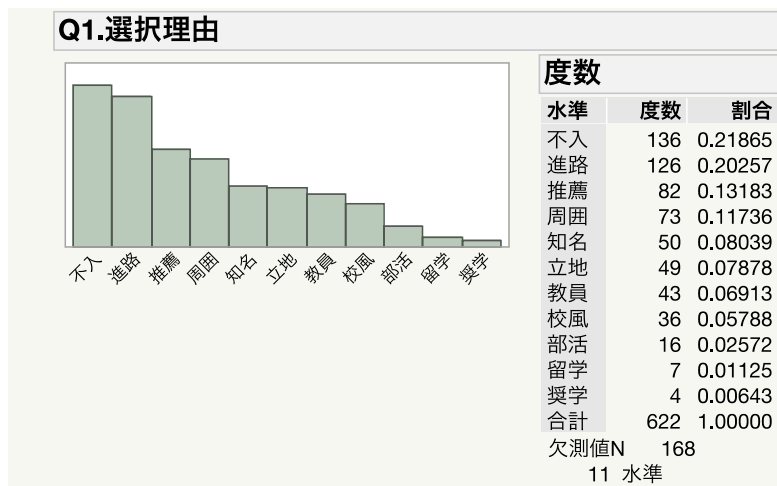
このセクションでは、Q1（入学動機）に関する部分について結果を報告する。

## 【入学動機】

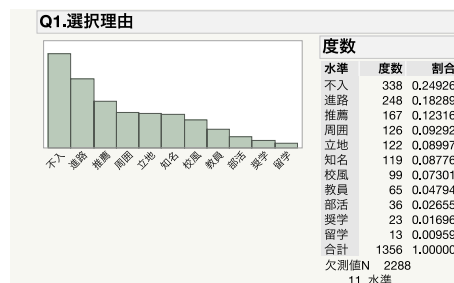
**Q1 1年生(2022年度入学生)のみ回答してください。本学に入学した理由は何ですか。(主なものを2つまで)**

- ①校風 [校風]
- ②指導を受けたい教員がいた [教員]
- ③将来の希望進路に必要な勉強ができる [進路]
- ④知名度・注目度の高さ [知名]
- ⑤立地条件 [立地]
- ⑥親や先生など周囲のすすめ [周囲]
- ⑦推薦入試制度があった [推薦]
- ⑧希望の部活動等に入るため [部活]
- ⑨奨学金制度が充実している [奨学]
- ⑩留学制度が充実している [留学]
- ⑪希望した大学に入れなかった [不入]

<全学>



参考：2021年度



これはひとり2つまで選択した合計の頻度である。回答した1年生は381名であったので、その回答者の中でどのくらいの割合が各理由をあげたかは以下の通りとなる。35.7%が本学を選択した理由として、「不入」すなわち「希望した大学に入れなかった」をあげた。ついで多かったのは「進路」33.1%である。2021年度は50.1%すなわち1年生の2人に一人が「不入」を選んでいたので比べると、2022年度は3人に一人と、まだ多いとはいえ、大きく割合を減らした。上位4つの理由の相対的順位は変わっていない。

不入	進路	推薦	周囲	知名	立地	教員	校風	部活	留学	奨学
136	126	82	73	50	49	43	36	16	7	4
35.7%	33.1%	21.5%	19.2%	13.1%	12.9%	11.3%	9.4%	4.2%	1.8%	1.0%

参考: 2021 年度

不入	進路	推薦	周囲	立地	知名	校風	教員	部活	奨学	留学
338	248	167	126	122	119	99	65	36	23	13
50.1%	36.7%	24.7%	18.7%	18.1%	17.6%	14.7%	9.6%	5.3%	3.4%	1.9%

では2つ選択した時、どの2つの組み合わせが多かったのだろうか。2つの理由の組み合わせの頻度の一覧は以下の通りである（この設問に回答した1年生381名中、2つの理由を回答したのは241名）。

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	25	20	12	0	9	5	4	0	2	0	77
教員	2	5	4	17	4	1	1	1	0	0	35
校風	3	5	2	9	2	7	0	2	0	3	33
周囲	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0	32
知名	11	8	6	0	2	0	2	0	0	0	29
立地	12	5	5	0	0	0	1	1	1	0	25
推薦	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6
部活	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
留学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	71	64	29	26	17	13	9	5	4	3	241

参考：2021 年度

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度	不入	推薦	周囲	立地	進路	知名	部活	奨学	教員	留学	合計
進路	47	34	22	15	0	19	9	5	0	0	151
校風	8	10	5	18	27	8	1	0	8	1	86
知名	38	13	11	10	0	0	2	1	0	0	75
立地	34	9	11	0	0	0	0	2	0	1	57
周囲	22	20	0	0	0	0	3	1	0	1	47
教員	4	8	5	3	18	3	2	1	0	0	44
推薦	6	0	0	0	0	0	8	1	0	2	17
奨学	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9
部活	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
留学	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	173	94	54	46	45	30	25	12	8	7	494

最も多いのが「不入」と「進路」の25名で、次が「推薦」と「周囲」の21名、「推薦」と「進路」が20名である。

## 2. 自己肯定感

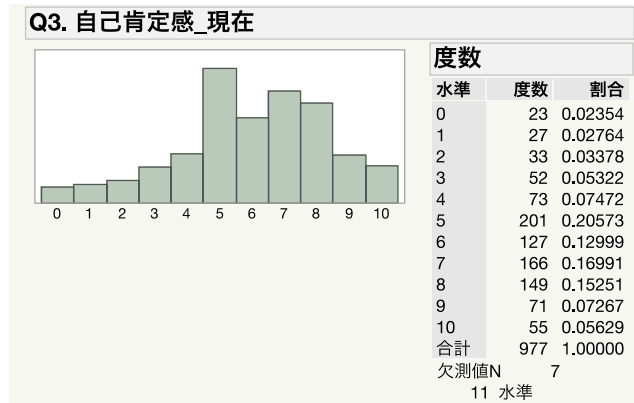
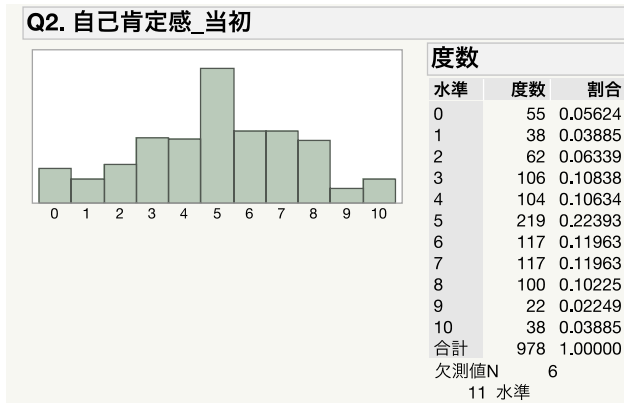
このセクションでは、Q2（入学時の自己肯定感）と、Q3（現在の自己肯定感）に関する部分について結果を報告する。

### 【自己肯定感】

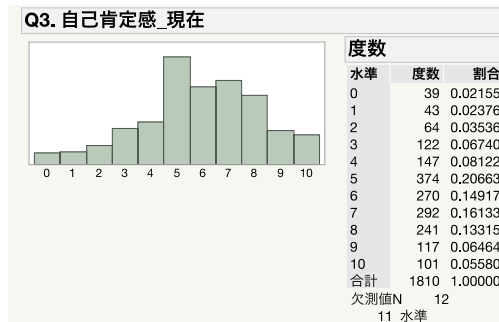
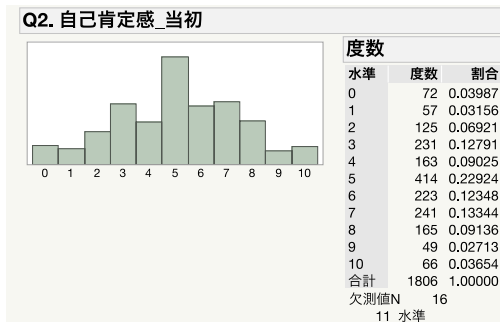
Q2「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、入学時にはどの程度でしたか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

Q3「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、現在どの程度ですか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

<全学>



参考：2021年度



全学の分布をヒストグラムで見ると、最頻値は入学時も現在も5（50%程度の自己肯定感）であり、最低値の0から最高値の10まで広範に分布していることがわかる。平均値は、入学時が5.00、現在が5.99であり、0.99の上昇が見られた（2021年度は、0.80の上昇）。対応のあるt検定を行ってみるとこの差は統計的に有意である。つまり全学的には入学時よりも現在のほうが自己肯定感上昇しているといえ

る。

<学年別>

Q3 の回答数値すなわち現在の自己肯定感を学年別に集計してみた。平均値は1年<2年<3年<4年と高かった。統計的に有意な差は、1年と4年の間にのみ見られた。

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	392	5.85	2.36	0.12	5.62	6.09
2	246	5.90	2.14	0.14	5.63	6.17
3	178	6.12	2.11	0.16	5.81	6.43
4	160	6.31	2.69	0.21	5.89	6.73

参考：2021年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	672	5.74	2.26	0.09	5.57	5.91
2	518	5.43	2.29	0.10	5.23	5.62
3	393	6.11	2.20	0.11	5.89	6.33
4	227	6.96	2.10	0.14	6.69	7.24

### 3. 他学生および教職員との関係

このセクションでは、Q4（助け合える仲間）と、Q5（信頼できる教職員）に関する部分について結果を報告する。

Q4 本学の学生の中で、交流し、助け合えるような仲間はひとりでもいますか。 ①いる ②いない

<全学>



<学年別>

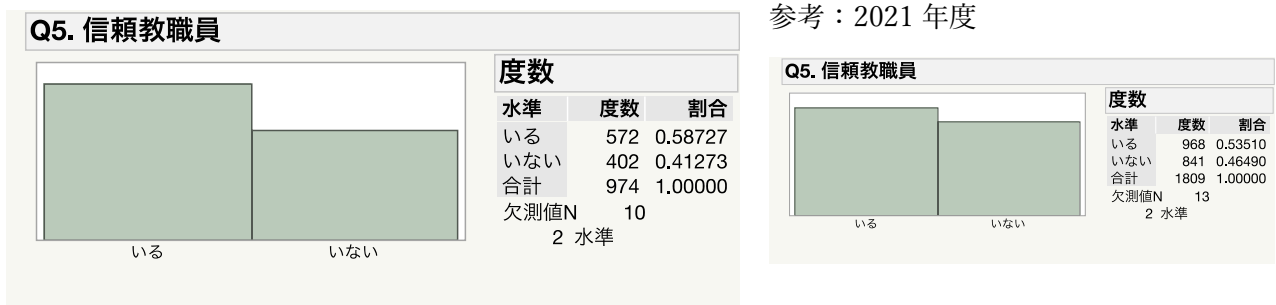
学年			参考：2021 年度		
学年	いる	いない	学年	いる	いない
1	90.28	9.72	1	87.8	12.2
2	92.71	7.29	2	82.6	17.4
3	87.08	12.92	3	92.2	7.9
4	86.88	13.13	4	94.3	5.7

全学では約 90%が「いる」と回答した。学年別には、昨年度は1年生と2年生の数値がやや低かったが、今年度は3年生、4年生の数値がやや低い。コロナ禍で大学生活を過ごした学年であることが関係しているかも知れない。

Q5 本学の教職員の中で、信頼できるまたは比較的気楽に話せる教職員はひとりでもいますか。

① いる ② いない

<全学>



<学年別>

学年	いる	いない
1	50.0	50.0
2	53.0	47.0
3	74.7	25.3
4	71.3	28.8

参考：2021年度

学年	いる	いない
1	44.79	55.21
2	42.83	57.17
3	66.92	33.08
4	80.26	19.74

教職員に関しては全体で約59%が「いる」と答えた。昨年度の約54%から上昇しているのは好ましいことである。やはり対面授業が再開された効果かも知れない。学年別には1～2年生と3～4年生の間には顕著な差がある。4年生の値は昨年度ほど高くなっていない。

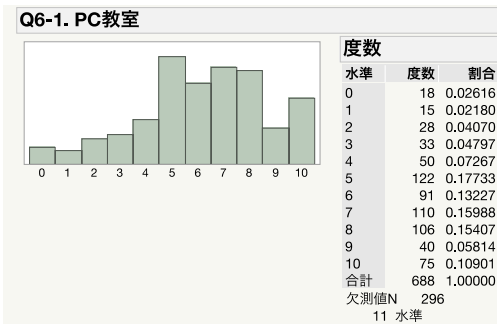


## 4. 施設等満足度

このセクションでは、Q6（施設等満足度）と Q7（施設等の改善希望）に関する部分について結果を報告する。

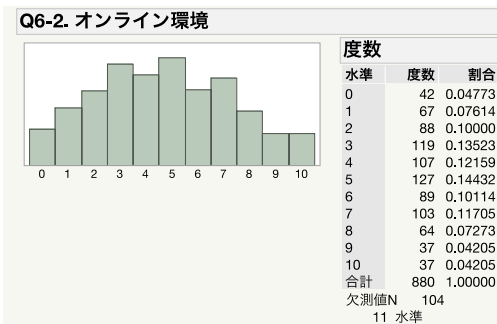
Q6 次のそれぞれの事項に対する満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の 11 段階で選んでください。利用したことがない場合は、何も選択しないでください。

### 6.1 PC 教室



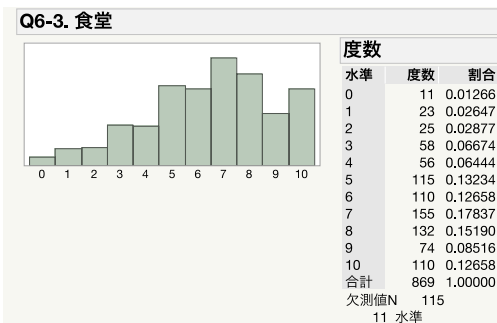
要約統計量	
平均	6.1831395
標準偏差	2.4610279
平均の標準誤差	0.0938258
平均の上側95%	6.3673593
平均の下側95%	5.9989198
N	688

### 6.2 Wi-Fi などオンライン授業環境



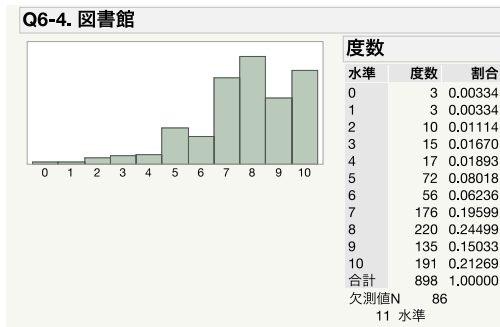
要約統計量	
平均	4.6965909
標準偏差	2.6148238
平均の標準誤差	0.0881457
平均の上側95%	4.8695915
平均の下側95%	4.5235903
N	880

### 6.3 食堂



要約統計量	
平均	6.4591484
標準偏差	2.4376558
平均の標準誤差	0.0826918
平均の上側95%	6.6214477
平均の下側95%	6.2968492
N	869

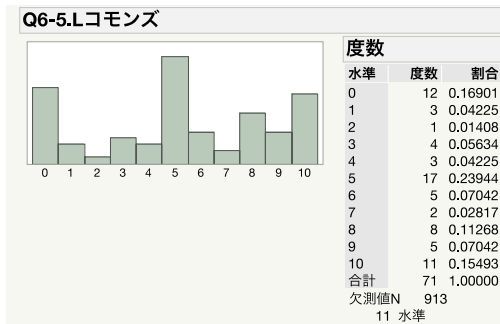
## 6.4 図書館



### 要約統計量

平均	7.7383073
標準偏差	1.8980428
平均の標準誤差	0.0633385
平均の上側95%	7.8626163
平均の下側95%	7.6139984
N	898

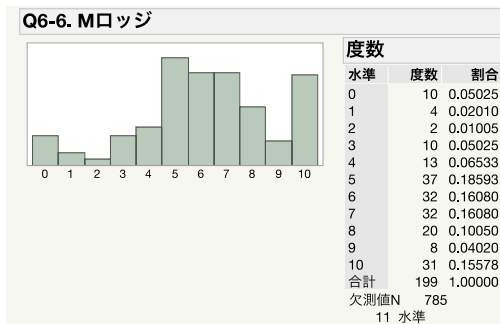
## 6.5 ラーニング・commons



### 要約統計量

平均	5.3098592
標準偏差	3.3999645
平均の標準誤差	0.4035015
平均の上側95%	6.1146176
平均の下側95%	4.5051007
N	71

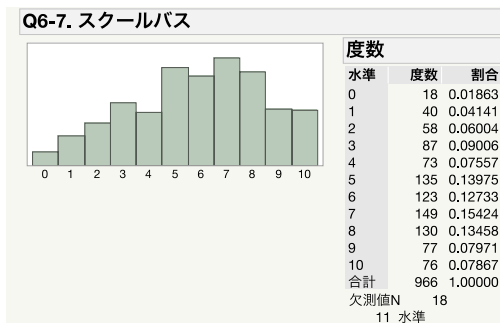
## 6.6 M ロッジ



### 要約統計量

平均	6.1959799
標準偏差	2.6047323
平均の標準誤差	0.1846446
平均の上側95%	6.5601022
平均の下側95%	5.8318576
N	199

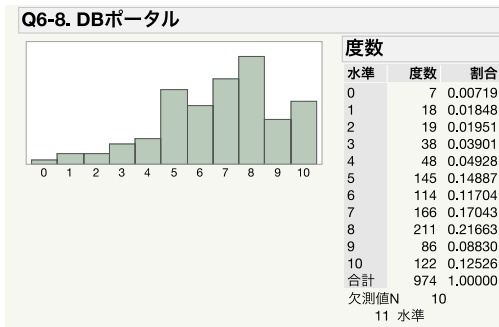
## 6.7 スクールバス



### 要約統計量

平均	5.8571429
標準偏差	2.5640572
平均の標準誤差	0.0824972
平均の上側95%	6.0190374
平均の下側95%	5.6952483
N	966

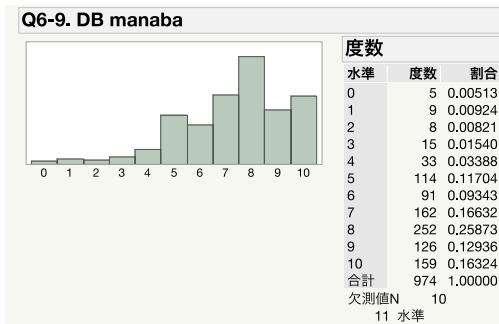
## 6.8 DB ポータル



### 要約統計量

平均	6.7915811
標準偏差	2.2235521
平均の標準誤差	0.0712472
平均の上側95%	6.931397
平均の下側95%	6.6517652
N	974

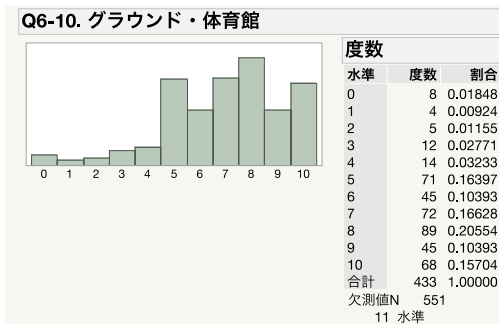
## 6.9 DB manaba



### 要約統計量

平均	7.3839836
標準偏差	2.0011277
平均の標準誤差	0.0641203
平均の上側95%	7.5098135
平均の下側95%	7.2581536
N	974

## 6.10 多目的グラウンド・体育館



### 要約統計量

平均	7.0023095
標準偏差	2.2510274
平均の標準誤差	0.1081775
平均の上側95%	7.2149291
平均の下側95%	6.7896898
N	433

### <平均と標準偏差の一覧>

	人数	平均	標準偏差
PC教室	688	6.18	2.46
オンライン環境	880	4.69	2.61
食堂	869	6.46	2.44
図書館	898	7.74	1.90
ラーニング・commons	71	5.31	3.40
Mロτζ	199	6.20	2.60
スクールバス	966	5.86	2.56
DBポータル	974	6.79	2.22
DB manaba	974	7.38	2.00
グラウンド・体育館	433	7.00	2.25

### 参考：2021年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	1084	6.26	2.42
オンライン環境	1646	6.00	2.52
食堂	1545	6.92	2.28
図書館	1496	7.86	1.94
ラーニング・commons	174	6.17	2.86
Mロτζ	348	6.73	2.47
スクールバス	1775	6.73	2.43
DBポータル	1803	7.02	2.14
DB manaba	1804	7.56	1.93
グラウンド・体育館	743	7.34	2.05

回答人数が昨年度より少なく、回答者も同一でないので一概に比較はできないが、平均値の数値とし

ては 2021 年度よりもすべての施設に関して満足度が低くなっている。

## 5. 施設等への要望 [自由記述]

このセクションでは、Q7（施設等への要望）に対する自由記述の結果を報告する。

Q7. Q6 の内容で、特に改善して欲しいことがあれば具体的に書いてください。

この設問には 339 件の実質的なコメントがあった。その内容と件数は以下の通りである。（ひとつのコメント内で複数の内容について触れている場合はそれぞれカウントしている。）

Wi-Fi 等ネット環境について	160 件
スクールバスについて	140 件
食堂等について	54 件
学内システムについて	20 件
図書館について	17 件
PC（教室）について	15 件
体育施設等について	10 件
その他	23 件

### <Wi-Fi 等ネット環境について(160 件)>

昨年度に引き続き、Wi-Fi 等ネット環境についての意見は、異口同音に、繋がりにくいエリアがあるので強化して欲しい、というものであった。具体的な場所として東松山校舎の 2、4、6、7、8 号館が挙げられた。

### <スクールバスについて(140 件)>

スクールバスについては 140 件のコメントがあった。スクールバスについての圧倒的に多い意見は、(1) 本数が少ない・混雑している、(2) 運転手・スタッフの対応が悪い、であった。特に (2) については 2021 年度と比較して有意にコメント数が増加しており、具体的には「学生を怒鳴りつけたり、威圧的な態度をとったりする運転手・スタッフがいて怖い」、「運転が荒い」という回答が主である。また、(3) バス内や待合室が寒い・暑い、(4) 設備が不十分である、(5) コロナ対策が過剰である・不足している、等の意見も見受けられた。

### <食堂等について(54 件)>

食堂等については、(1) 値段が高い、(2) メニューに不満がある、(3) 混雑している・待ち時間が長い、という声が多かった。

### <学内システムについて(20 件)>

主に見られたのは DB ポータルに関するコメントと、DB manaba に関するコメントだった。

DB ポータルについては、(1) 毎回のログインが面倒、(2) DB ポータル上の情報へのアクセスを整

備して欲しい、(3) エラーが頻発する、などの声が多い。

DB manaba については、細かな使い勝手についての希望の声があった。

また、授業で使用するのを DB ポータルか DB manaba かどちらかに統一して欲しい、という声が複数あった。

これらについては具体的な声を学園総合情報センターに伝えることとしたい。

#### <図書館について(17件)>

施設・設備に関するコメントが圧倒的に多く、具体的には(1) Wi-Fi 等ネット環境が悪い、(2) PC の使い勝手が悪い、(3) 自習スペースを整備して欲しい、という内容が主だった。

また、書籍・論文・資料へのアクセスを整備して欲しいという意見も見られた。

#### <PC(教室)について(15件)>

PC 関係では以下のコメントがあった。

1. パソコン室の机が小さい
2. PC 教室が狭い。アクリル板が余計に幅をとる。
3. 東松山のパソコン教室が少ないので充実できるようにしてほしいです。
4. PC 教室で電源がつかない PC があるので対応してほしい
5. 東松山の7号館2階のパソコン室の机が狭くて講義が受けづらすぎる
6. PC 室の机が狭い為、面積を広げて欲しい。
7. PC 教室での授業において、机にパソコンが置いてあるだけでメモを取る事ができる十分なスペースがない。また、横のアクリル板が窮屈に感じる。
8. パソコンのキーボードがもう少し綺麗だとありがたいです。
9. パソコン室は机と椅子の距離が近い為、キーボードでの入力がやりづらく感じる。
10. 社会学部 pc ラウンジこ Wi-Fi が通じておらず、課題ができない。
11. 東松山図書館のパソコンはどれも処理の能力が低い。Word と Chrome を開くと処理落ちしてしまう。これは一部のパソコンではなく、PC コーナーにある大半のパソコンで起きてしまう現象である。板橋図書館ではこういったことはなく、東松山のみでの現象である。
12. PC 教室をいつでも使えるようにしてほしい
13. 図書館やPC 教室での飲食を一部許可してほしいです。(飲み物は可など。)
14. PC 教室や図書館の PC で、使用できない(電源がつかない、ついても使えない)ものが多い。
15. PC 教室はマウスを動かせるスペースが狭く感じて作業がしにくかった。感染予防のために一時的に離しているだけなのかもしれないが、もう少しパソコンの右側にスペースがあるように配置してほしい。

(原文ママ)

#### <体育施設等について(10件)>

体育施設等についても、以下に全件を掲載する。

1. コロナウイルスの対策が理由であることは理解できるが、特別強化指定部が総合体育館のトレーニ

ング場の大方の使用権を得ているのは不平等であると考えます。特別強化指定を行うならば、毎年の結果などを考慮して行うことが公平ではないでしょうか。長距離など、総合体育館を利用しているところは見ることがありません。使える部活は限られているのに使用していない施設に施設費を払っているのは不当さを感じます。私は今年度で卒業しますが、来年度に残る後輩達の為にも、「実績」の評価による特別強化指定部の公平な指定を行なって欲しいです。

2. 総合グラウンドのトイレを治して欲しいです。水圧が弱すぎてなかなか流れません。(女子トイレ)
3. 体育館の通路や階段が暗いので、証明を増やすなど、なるべく明るくなるような工夫をして欲しいです。
4. トレーニングルーム使えるようにして欲しい
5. トレーニングルームを使えるようにして欲しい
6. 体育館のトレーニングルームの貸し出しをずっと1年から2年が終わるまで友達何人かで申請してましたが、最初は健康診断をまだやってないからやってから使えると言われて、健康診断が終わったて再度行ったら、コロナの関係で使えないって言われてばっかで東松山キャンパスでの2年間が終わってしまいました。いろいろ理由あると思うんですが、施設使用料みたいなのを払ってるのでさすがに一回も使えずに板橋キャンパスに行くのはとても残念でした。
7. 総合グラウンドをアメフトの線を入れて欲しい
8. 総合グラウンドや体育館は運動部が専門的に使えるような感じがある。サークルとかにも使えるようにするべきだと思う。現在サークルとかも使えるならばその辺の周知を広める必要がある。
9. 体育館では前期の夏頃に体育館が暑くまた近くに自販機も確認できなかったため水の確保が難しくクーラーもないので熱気がこもりすぐに暑さにばててしまった。クーラーや換気の設備を増やして欲しい。
10. トレーニングルームの利用についてのアナウンス等が欲しい  
(原文ママ)

#### <その他(23件)>

その他に、充電ができる場所を増やして欲しい、空調設備に不満がある、更衣室へのアクセスを整備して欲しい、などの様々な声があった。

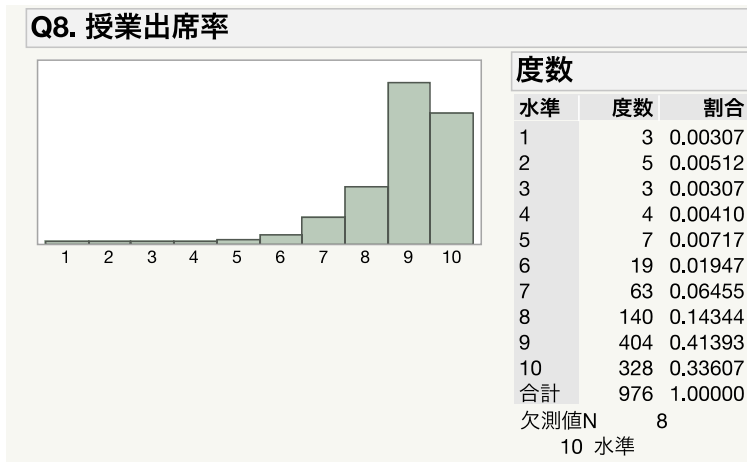
## 6. 学修状況

このセクションでは、Q8（授業の出席状況）と、Q9（出席状況が悪い理由）、Q10（平均的な学習時間）に関する部分について結果を報告する。

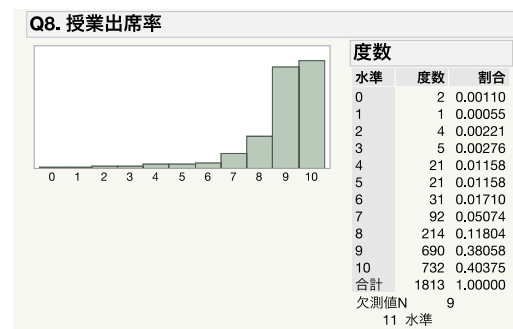
### 【日常の学修状況】

Q8 授業への平均的な出席状況はどの程度ですか。0(0%出席)～10(100%出席)の11段階で選んでください。

<全学>



参考：2021年度



全学の回答分布の最頻値は9である。9と10で約75%を占めている。昨年度は最頻値が10で、9と10で約78%を占めている。すなわち昨年度よりもやや出席率が下がった。

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	391	8.66	1.51
2	247	9.10	1.02
3	177	9.08	0.97
4	160	8.81	1.34

参考：2021年度

学年	人数	平均	標準偏差
1	670	8.93	1.42
2	519	9.13	1.13
3	396	8.94	1.37
4	228	8.68	1.11
全体	1813	8.98	1.30

学年別では2年生が9.10と最も高く、昨年度と同じ傾向が見られた。

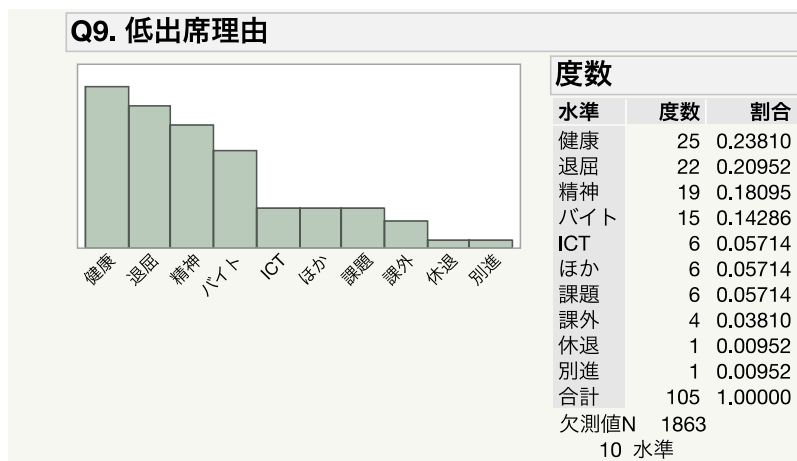
Q9 Q8で0～4を選んだ方は、その理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①アルバイトに時間を費やしていた [バイト]
- ②課外活動（部活・サークル活動等）に時間を費やしていた [課外]
- ③授業がつまらなかった・やる気にならなかった [退屈]
- ④パソコン・インターネット環境が整わなかった [ICT]
- ⑤課題が多く、すべての授業に対応できなかった [課題]

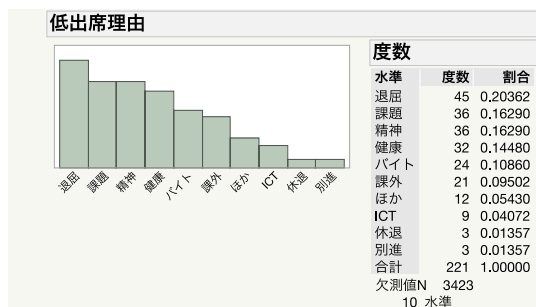


- ⑥休学・退学を考えている [休退]
- ⑦精神的な悩み [精神]
- ⑧健康上の理由 [健康]
- ⑨別の進路を考えている [別進]
- ⑩その他 [ほか]

<全学>



参考: 2021 年度



最も頻度が高いのは「健康」で、次に「退屈」（授業がつまらなかった・やる気にならなかった）、と「精神」（精神的な悩み）が続いている。2021年度に2番目に多かった「課題」（課題が多く、すべての授業に対応できなかった）は、今年度かなり減った。課題が多くなりがちなオンライン授業から対面授業に移行したことの表れであろう。上の表で「割合」とあるのは、すべての理由を1.00としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は71なので、回答した人数に対する割合は、以下のようになる。回答者の約35%が「健康」を、約31%が「退屈」をあげ、約27%が「精神」をあげていたことがわかる。出席率が悪かったと回答した学生で「退屈」を上げたのは2021年度も約30%であった。教員の側からコントロールの難しい「健康」「精神」と異なり、「退屈」についてはその解消に教員が関わることのできる部分があるのではないだろうか。

健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
25	22	19	15	6	6	6	4	1	1
35.2%	31.0%	26.8%	21.1%	8.5%	8.5%	8.5%	5.6%	1.4%	1.4%

参考: 2021 年度

退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進
45	36	36	32	24	21	12	9	3	3
30.6%	24.5%	24.5%	21.8%	16.3%	14.3%	8.2%	6.1%	2.0%	2.0%

次に学年と理由のクロス集計を、度数と学年内パーセンテージで表示する。

<学年別> (度数)

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計
1	15	12	13	8	5	5	3	0	1	1	63
2	4	4	2	3	0	1	1	2	0	0	17
3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	9
4	3	3	3	3	0	0	2	2	0	0	16
合計	25	22	19	15	6	6	6	4	1	1	105

参考: 2021 年度

学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計
1	17	18	18	16	6	9	4	3	2	3	96
2	8	8	5	4	4	4	4	1	1	0	39
3	12	8	12	9	9	4	4	2	0	0	60
4	8	2	1	3	5	4	0	3	0	0	26
合計	45	36	36	32	24	21	12	9	3	3	221

<学年別> (学年内パーセンテージ)

学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
1	23.8	19.1	20.6	12.7	7.9	7.9	4.8	0.0	1.6	1.6
2	23.5	23.5	11.8	17.7	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0
3	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	18.8	18.8	18.8	18.8	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0

参考: 2021 年度

学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計
1	17.7	18.8	18.8	16.7	6.3	9.4	4.2	3.1	2.1	3.1	
2	20.5	20.5	12.8	10.3	10.3	10.3	2.6	2.6	0.0	0.0	
3	20.0	13.3	20.0	15.0	15.0	6.7	6.7	3.3	0.0	0.0	
4	30.8	7.7	3.9	11.5	19.2	15.4	0.0	11.5	0.0	0.0	

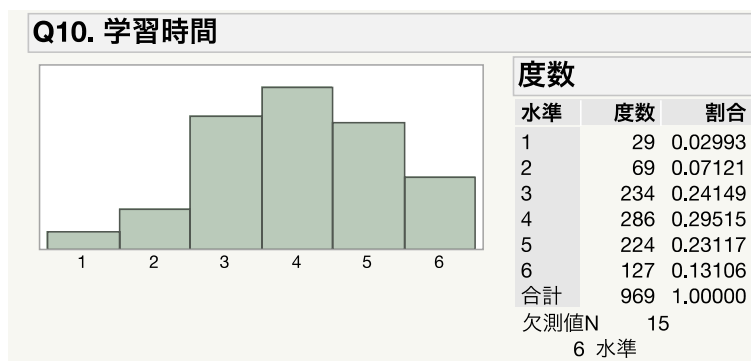
まず度数に関しては、1年生が63と突出しているが回答した母数もまた1年生が最も多いことの反映

ともいえる。また「別進」(別の進路を考えている)と「休退」(休学・退学を考えている)は1年生のみで2年生以上にはいなかった。

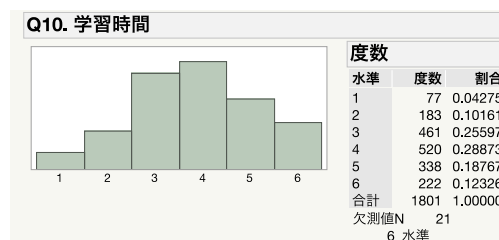
Q10 授業のための予習・復習・課題、資格取得のための準備等を合わせて、一日平均どのくらい学習しますか。

- ① 4時間以上 ② 3時間程度 ③ 2時間程度 ④ 1時間程度 ⑤ 1時間未満 ⑥ ほぼしない

<全学>



参考：2021年度



最頻値は4(1時間程度)で、約30%を占める。昨年度とほぼ同様の結果である。大学生の学習時間としては少ないと言わざるを得ない。6(ほぼしない)も昨年度約12%だったのが約13%に増えた。次に学年別の分布を示す。

<学年別>

学年	1	2	3	4	5
1	1.8	4.9	20.9	28.4	28.7
2	2.0	8.9	28.5	35.8	15.5
3	6.8	10.2	25.6	27.3	18.8
4	3.1	6.3	23.9	25.2	25.8

参考：2021年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.9	8.1	26.8	30.9	18.6	12.7
2	5.4	14.3	29.6	26.1	16.4	8.1
3	5.3	10.7	22.4	27.5	19.3	14.8
4	4.0	5.8	18.3	31.7	23.7	16.5

学年別には1(4時間以上)の割合が最も高いのは3年生で、1(4時間以上)と2(3時間以上)を合計した割合が最も高いのも3年生である。1と2の合計(すなわち3時間以上学習している)、1と2と3の合計(すなわち2時間以上学習している)による学年の順序は共通で、1年<4年<2年<3年であった。すなわち1年生の学習時間が最も短く、3年生の学習時間が最も長い。昨年度は4年<1年<3年<2年であったが、いずれにしても、1年生と4年生の学習時間は比較的短く、2年生と3年生の学習時間は比較的長い、という傾向があるように思われる。

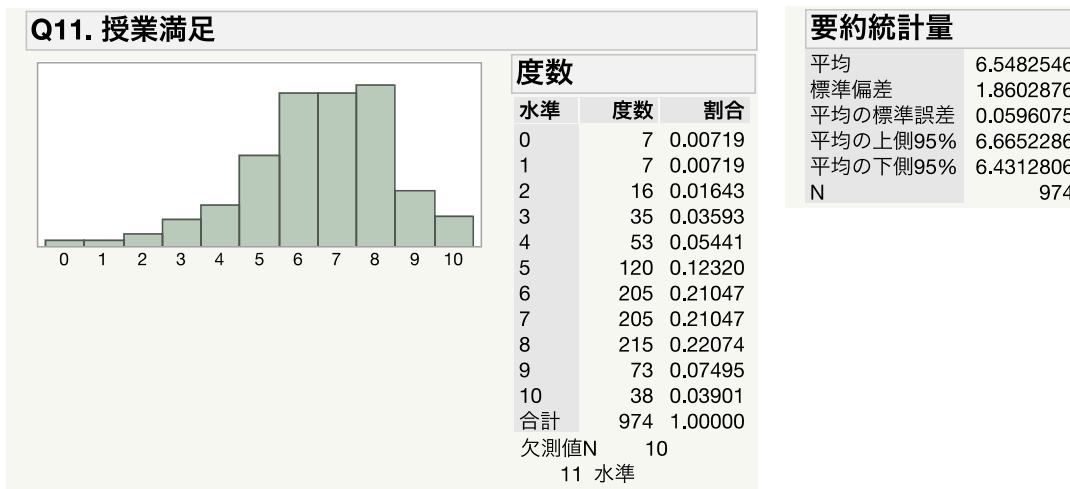
## 7. 授業満足度

このセクションでは、Q11（授業満足度）、Q12（満足度が高い理由）、Q13（満足度が低い理由）に関する部分について結果を報告する。

### 【これまでの授業への満足度】

Q11 本学でこれまで履修してきた授業に対する全体的な満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の11段階で選択してください。

<全学>



最頻値は8（80%満足）であり、ついで7（70%満足）と6（60%満足）が同率で続く。しかし0（0%満足）から10（100%満足）まで広い範囲に分布しており、平均値は6.55である。全体としては65.5%程度の満足、ということになる。2021年度は最頻値が6であり、平均値が6.42であったことを考えると、満足度はわずかながら上昇したと言っても良いかも知れない。

参考：2021年度



<学年別>

学年	数	平均	標準偏差
1	390	6.44	1.86
2	247	6.59	1.67
3	177	6.74	1.65
4	159	6.53	2.32

参考：2021 年度

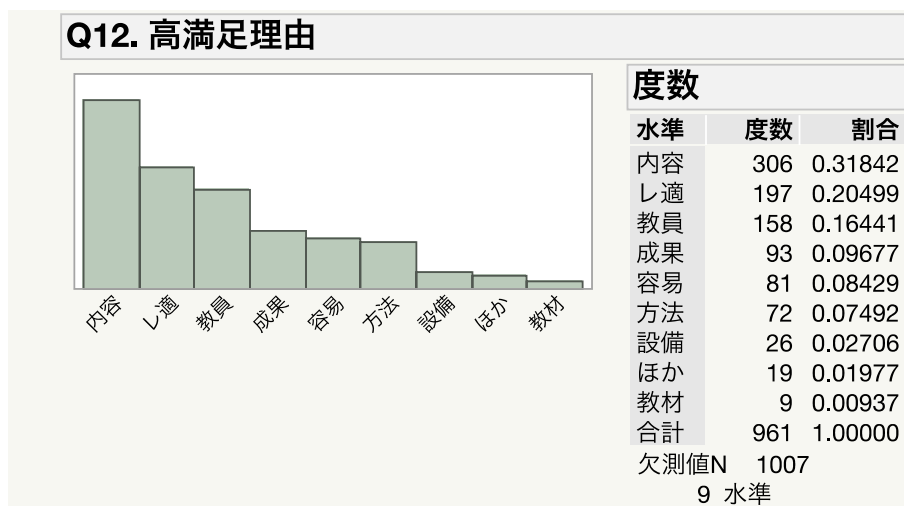
学年	数	平均	標準偏差
1	669	6.44	1.89
2	519	6.05	2.01
3	394	6.57	1.85
4	225	7.00	1.53

昨年度は、1年生の数値が2年生になると下降し、3年生で再び上昇し、4年生で最も高くなるという傾向が見えたが、本年度はそうはならなかった。1年<2年<3年と上昇し、4年でやや下降している。もちろんこれは同一集団の経年変化ではないので、学年集団ごとの属性であるのかも知れない。

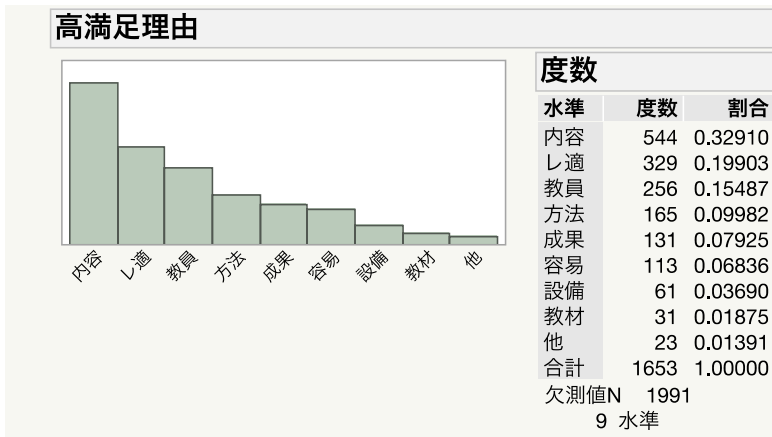
Q12 Q11で7~10を選んだ方は、満足度が(比較的)高い理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①授業内容がよい [内容]
- ②授業方法がよい [方法]
- ③担当教員が魅力的である [教員]
- ④単位の修得が容易である [容易]
- ⑤授業レベルが自分に合っている [レ適]
- ⑥教材がよい [教材]
- ⑦施設/設備がよい [設備]
- ⑧授業の成果が実感できる [成果]
- ⑨その他 [ほか]

<全学>



参考：2021 年度



昨年度と、内容（授業内容がよい）＞レ適（授業レベルが自分に合っている）＞教員（担当教員が魅力的である）の3つの順位は共通である。

<学年別>

学年	内容	レ適	教員	成果	容易	方法	設備	ほか	教材
1	28.5	25.2	14.4	9.1	9.1	7.2	3.1	2.5	0.8
2	32.8	19.3	14.3	12.3	7.0	9.8	0.8	2.9	0.8
3	37.8	17.1	19.2	8.8	5.2	7.3	2.6	1.6	0.5
4	30.4	16.2	21.1	8.1	12.4	5.0	5.0	0.0	1.9

参考：2021 年度

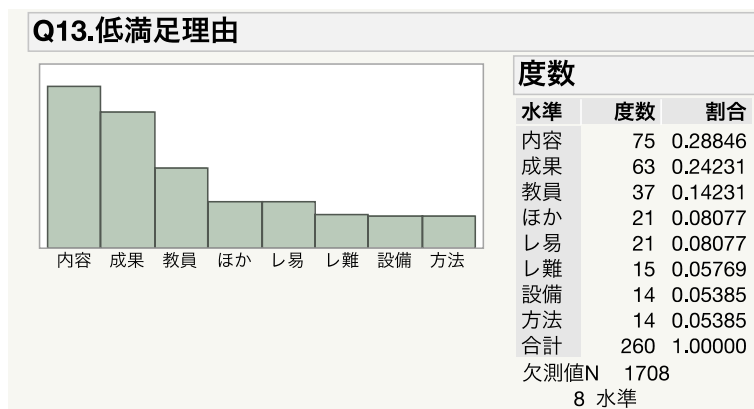
学年	内容	レ適	教員	方法	成果	容易	設備	教材	他
1	31.2	22.9	14.3	9.9	8.9	6.5	3.8	1.9	0.7
2	32.8	19.6	15.3	10.4	8.3	7.6	2.8	0.9	2.4
3	34.7	13.9	17.6	10.5	7.9	6.8	3.9	2.9	1.8
4	34.4	22.5	15.3	8.8	5.3	6.5	4.6	1.9	0.8

学年別には1年生よりも2～3年生で「内容」が多くなるのは昨年度と共通の傾向である。

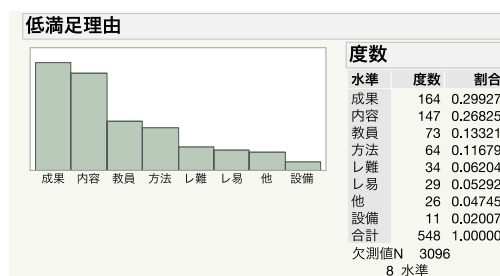
Q13 Q11で0～4を選んだ方は、満足度が(比較的)低い理由を教えてください。(主なものを2つまで)

- ①授業内容に魅力がない [内容]
- ②授業方法になじめない [方法]
- ③担当教員と相性が悪い [教員]
- ④授業レベルが難しすぎる [レ難]
- ⑤授業レベルが簡単すぎる [レ易]
- ⑥施設/設備が貧弱である [設備]
- ⑦授業の成果が実感できない [成果]
- ⑧その他 [ほか]

<全学>



参考：2021年度



満足度が低い場合にもっとも多い理由は「内容」（授業内容に魅力がない）で、「成果」（授業の成果が実感できない）、そして「教員」（担当教員と相性が悪い）である。昨年度は「成果」と「内容」の順位が逆であったが、この2つが主要な要因であることは変わらないようだ。また「レ易」と「レ難」の両方があるのがレベル設定の上で悩ましいことである。

<学年別>

学年	内容	成果	教員	ほか	レ易	レ難	設備	方法
1	25.6	17.1	11.1	10.3	12.0	11.1	6.8	6.0
2	29.0	29.0	25.8	4.8	3.2	1.6	4.8	1.6
3	32.3	35.5	9.7	3.2	6.5	0.0	3.2	9.7
4	34.0	28.0	10.0	10.0	6.0	2.0	4.0	6.0

参考：2021年度

学年	成果	内容	教員	方法	レ難	レ易	他	設備
1	24.6	28.6	14.6	14.6	8.2	4.1	3.2	2.3
2	37.6	25.8	12.4	8.3	5.2	4.1	5.2	1.6
3	31.7	27.7	10.9	11.9	5.0	5.9	5.9	1.0
4	15.2	18.2	18.2	12.1	3.0	18.2	9.1	6.1

学年別に見ると4年生は「内容」が、3年生は「成果」が、2年生は「内容」と「成果」が、1年生は「内容」が多かった。また1年生に「レ易」と「レ難」がおおよそ同じくらいあるのが目立つ。昨年度と見比べてみるとパターンが異なるので、これらは学年の特徴というよりも、その年ごとの学生集団の特徴なのかも知れない。ただいずれにせよ回答率が低いので解釈の妥当性は限定的である。

## 8. DP 達成度

このセクションでは、Q14～Q22（DP 達成度）に関する部分について結果を報告する。

### 【DP 達成度】

以下の設問は、本学の「卒業認定・学位授与方針」に関連した問いです。本学では以下のような力を身につけた学生に卒業を認定すると定めています。現時点での自分の認識として、それぞれの力がどの程度身についていると思いますか。0(まったく身につけていない)～10(100%身につけている)の11段階で選んでください。

Q14 「豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している」

Q15 「自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる」

Q16 「国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている」

Q17 「自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている」

Q18 「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている」

Q19 「修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている」

Q20 「広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる」

Q21 「本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す」

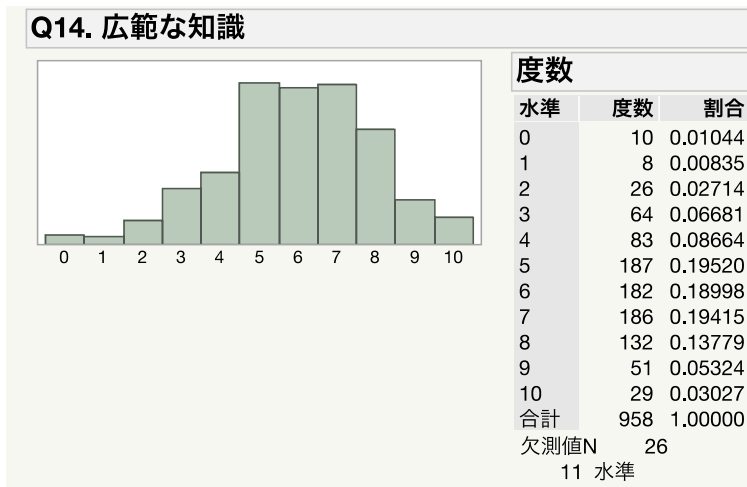
Q22 「本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる」

次ページより各問に関して、全学の回答分布、全学の要約統計量、学年別の平均と標準偏差を示す。全学の回答に関しては、全ての設問で最頻値は5(50%身につけている)である。学年別に見ると全ての設問で、1年<2年<3年<4年と平均値が上昇している。



Q14 「豊かな教養の基礎となる広範な知識を修得している」

<全学>



**要約統計量**

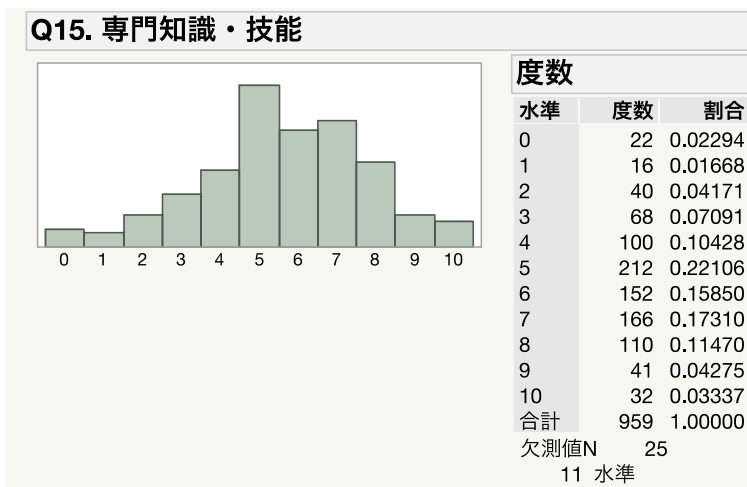
平均	5.9686848
標準偏差	1.9681531
平均の標準誤差	0.0635881
平均の上側95%	6.093473
平均の下側95%	5.8438965
N	958

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	385	5.52	1.94
2	244	6.01	1.81
3	173	6.29	1.80
4	155	6.68	2.17

Q15 「自らが学ぶ学位プログラムの基礎となる専門知識・技能を修得し、活用することによって、現代社会の諸問題にチャレンジできる」

<全学>



**要約統計量**

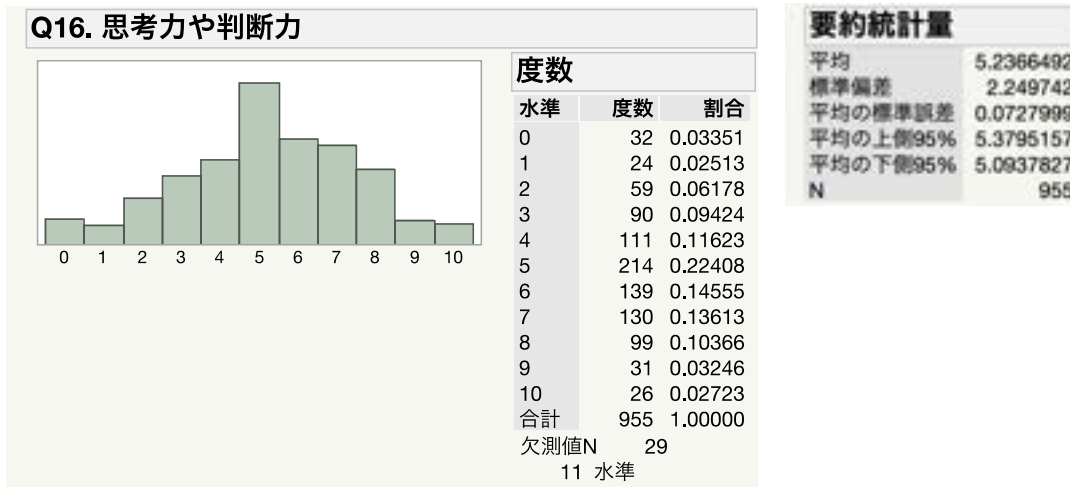
平均	5.6339937
標準偏差	2.1466417
平均の標準誤差	0.0693187
平均の上側95%	5.7700277
平均の下側95%	5.4979598
N	959

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	386	5.20	2.06
2	242	5.67	2.05
3	174	5.84	2.09
4	156	6.44	2.31

Q16 「国内外における諸課題を発見し、解決策を構想するための思考力や判断力を身に付けている」

<全学>

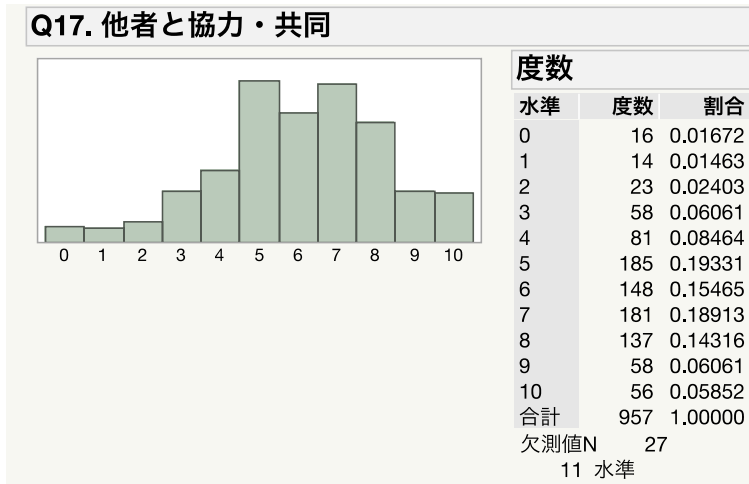


<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	386	4.86	2.10
2	241	5.23	2.14
3	171	5.42	2.20
4	156	5.99	2.61

Q17 「自分の意見を持ち、それを適切に表現・伝達できるとともに、背景や価値観の異なる他者の意見を傾聴し、他者と協力・共同することにより問題を解決する能力を持っている」

<全学>



**要約統計量**

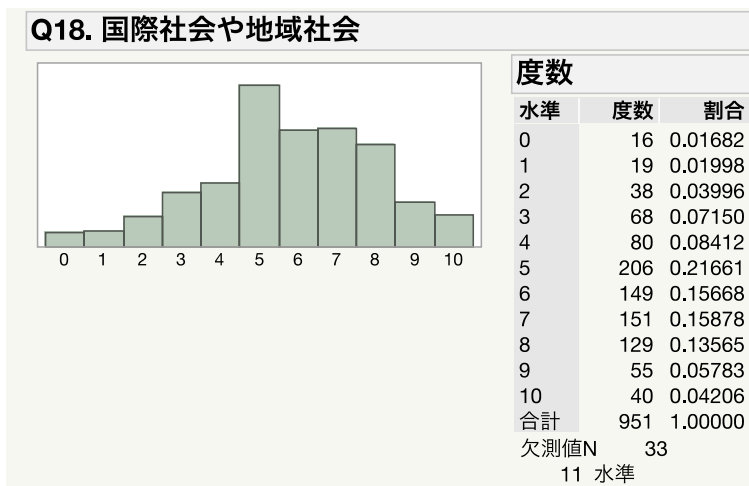
平均	6.077325
標準偏差	2.1614437
平均の標準誤差	0.0698696
平均の上側95%	6.2144404
平均の下側95%	5.9402096
N	957

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	386	5.61	2.07
2	241	6.11	1.99
3	173	6.43	2.11
4	156	6.82	2.41

Q18 「生涯にわたって学び続け、国際社会や地域社会の発展に貢献する意欲と能力をもっている」

<全学>



**要約統計量**

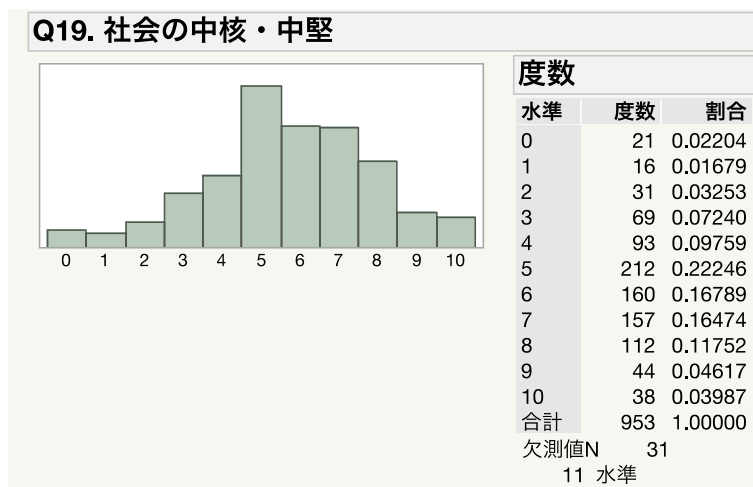
平均	5.8117771
標準偏差	2.192165
平均の標準誤差	0.0710858
平均の上側95%	5.9512805
平均の下側95%	5.6722737
N	951

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	383	5.37	2.16
2	238	5.87	1.98
3	173	6.16	2.04
4	156	6.44	2.51

Q19「修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている」

<全学>



**要約統計量**

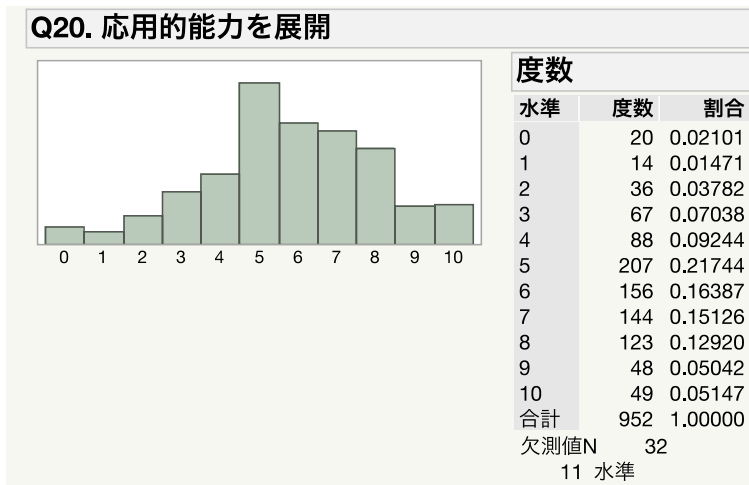
平均	5.7166842
標準偏差	2.147283
平均の標準誤差	0.0695573
平均の上側95%	5.8531875
平均の下側95%	5.5801808
N	953

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	385	5.34	2.02
2	239	5.79	2.00
3	172	5.86	2.11
4	156	6.39	2.51

Q20 「広い知識を求め学び続け、応用的能力を展開させ、使命感を持って社会の発展に寄与できる」

<全学>



**要約統計量**

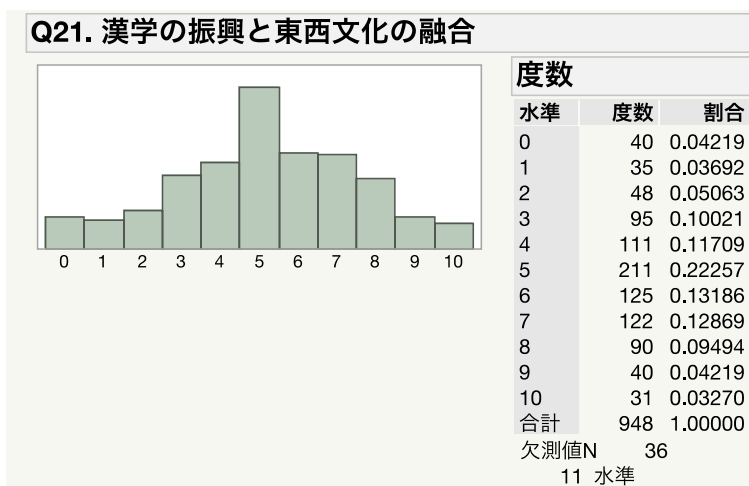
平均	5.802521
標準偏差	2.2047826
平均の標準誤差	0.0714574
平均の上側95%	5.9427534
平均の下側95%	5.6622886
N	952

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	384	5.41	2.16
2	239	5.85	2.02
3	172	6.03	2.10
4	156	6.45	2.51

Q21 「本学の建学の精神(漢学の振興と東西文化の融合)を知り、新しい文化の創造を目指す」

<全学>



**要約統計量**

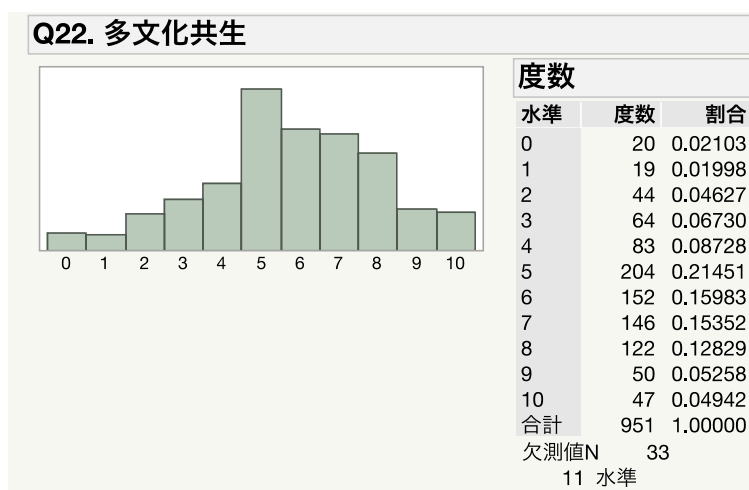
平均	5.17827
標準偏差	2.3636798
平均の標準誤差	0.0767688
平均の上側95%	5.3289266
平均の下側95%	5.0276135
N	948

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	383	4.84	2.24
2	237	5.33	2.22
3	172	5.26	2.39
4	155	5.70	2.73

Q22 「本学の理念(多文化共生)に基づき、多様性を認め、地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる」

<全学>



**要約統計量**

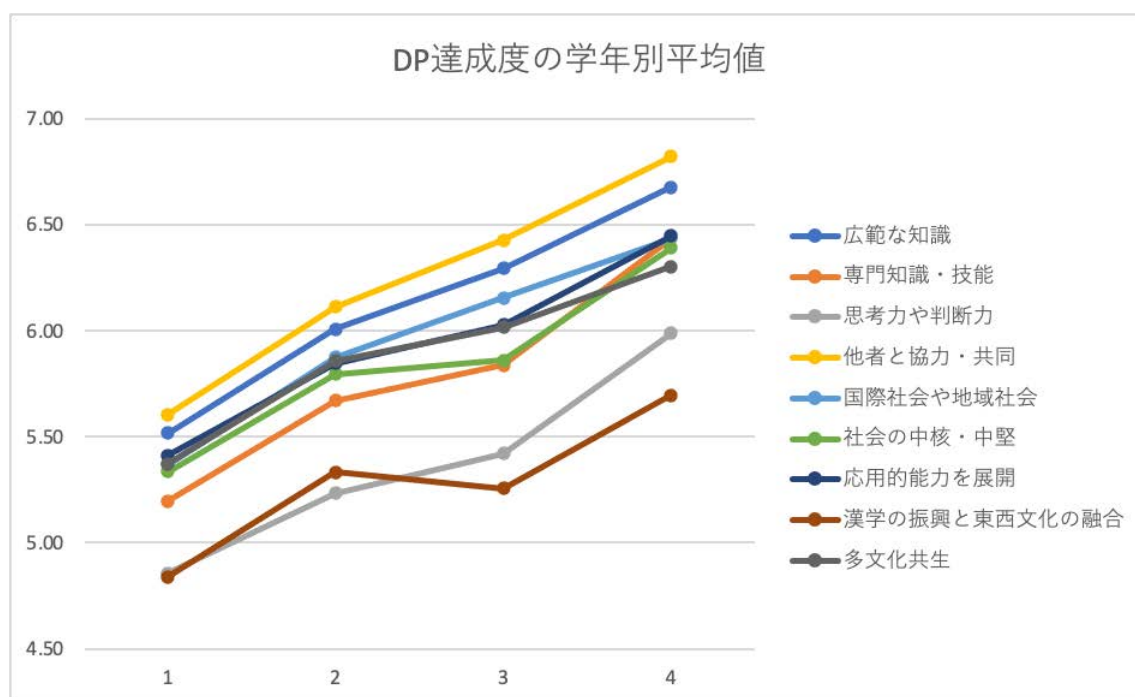
平均	5.7634069
標準偏差	2.2463459
平均の標準誤差	0.0728428
平均の上側95%	5.9063582
平均の下側95%	5.6204556
N	951

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	385	5.37	2.16
2	238	5.86	2.19
3	172	6.02	2.12
4	155	6.30	2.52

以上の DP 達成度の平均値学年推移を一つの表、グラフにまとめて表示すると以下のようなになる。

	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
	広 範 な 知 識	専 門 知 識 ・ 技 能	思 考 力 や 判 断 力	他 者 と 協 力 ・ 共 同	国 際 社 会 や 地 域 社 会	社 会 の 中 核 ・ 中 堅	応 用 的 能 力 を 展 開	化 漢 の 融 合	漢 学 の 振 興 と 東 西 文 化	多 文 化 共 生
学年										
1	5.52	5.20	4.86	5.61	5.37	5.34	5.41	4.84	5.37	
2	6.01	5.67	5.23	6.11	5.87	5.79	5.85	5.33	5.86	
3	6.29	5.84	5.42	6.43	6.16	5.86	6.03	5.26	6.02	
4	6.68	6.44	5.99	6.82	6.44	6.39	6.45	5.70	6.30	



DP別の自己認識による達成度はほとんどの項目で1年<2年<3年<4年、と数値が上がっていくことが確認できた。項目間では、「他者と協力・共同」の数値が最も高く、4年時には6.82に達している。一方、数値が低いのは「漢学の振興と東西文化の融合」と「思考力や判断力」である。いずれも授業によって直接働きかけることのできるはずの分野であるため、より一層の授業充実の必要性が示唆される。

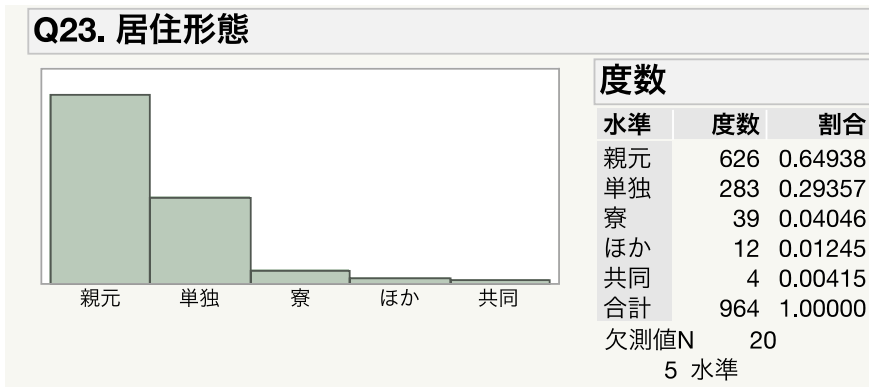
## 9. 生活・心身の悩み・経済状況など

このセクションでは、Q23～Q39 の、生活状況や悩みの有無、経済状況等に関する部分について結果を報告する。

### 【現在の生活状況】

Q23 今年度の居住形態はどれに当てはまりますか。最も期間が長いものを選んでください。

- ①親元で暮らしている [親元]
- ②ひとり暮らし [単独]
- ③学生寮・部活動の寮 [寮]
- ④ルームシェア・シェアハウス [共同]
- ⑤その他 [ほか]



学年	親元	単独	寮	ほか	共同
1	66.2	27.6	4.1	1.6	0.5
2	66.0	29.9	3.3	0.8	0.0
3	58.3	35.4	4.0	1.1	1.1
4	67.3	26.3	5.1	1.3	0.0

居住形態に関しては、約 65%が「親元で暮らしている」と答えた。このことから、昨年度に引き続き本学において首都圏近郊からの進学・通学者が多いことがうかがえる。

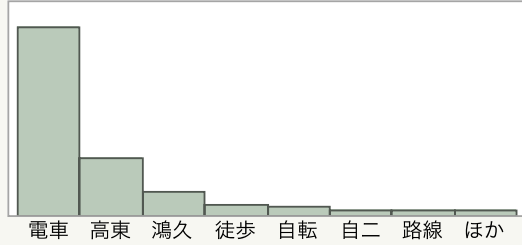
Q24 通常時の主な通学手段は何ですか。最も利用時間が長いものを選んでください。

- ①電車 [電車]
- ②スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス） [高東]
- ③スクールバス（鴻巣便／久喜便） [鴻久]
- ④路線バス [路線]
- ⑤自動二輪・原付 [自二]



- ⑥自転車 [自転]
- ⑦徒歩 [徒歩]
- ⑧その他 [ほか]

### Q24. 通学手段



#### 度数

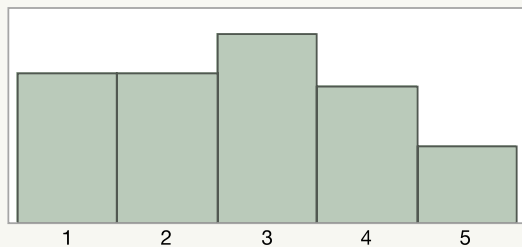
水準	度数	割合
電車	614	0.63561
高東	185	0.19151
鴻久	74	0.07660
徒歩	31	0.03209
自転	23	0.02381
自二	15	0.01553
路線	13	0.01346
ほか	11	0.01139
合計	966	1.00000
欠測値N	18	
8 水準		

通学手段に関して、約 64%が「電車」と答えた。次いで約 19%が「スクールバス（高坂／東武練馬～キャンパス）」であり、キャンパスの最寄り駅周辺に居住している学生の利用がうかがえる。また、約 8%が「スクールバス（鴻巣便／久喜便）」であるが、これは埼玉県東部地域居住学生の通学手段の需要が一定数あることが見てとれる。

### Q25 通常時の通学所要時間(片道)はどの程度ですか。

- ①30 分未満
- ②30 分～1 時間未満
- ③1 時間～1 時間 30 分未満
- ④1 時間 30 分～2 時間未満
- ⑤2 時間以上

### Q25. 通学時間



#### 度数

水準	度数	割合
1	206	0.21281
2	207	0.21384
3	262	0.27066
4	189	0.19525
5	104	0.10744
合計	968	1.00000
欠測値N	16	
5 水準		

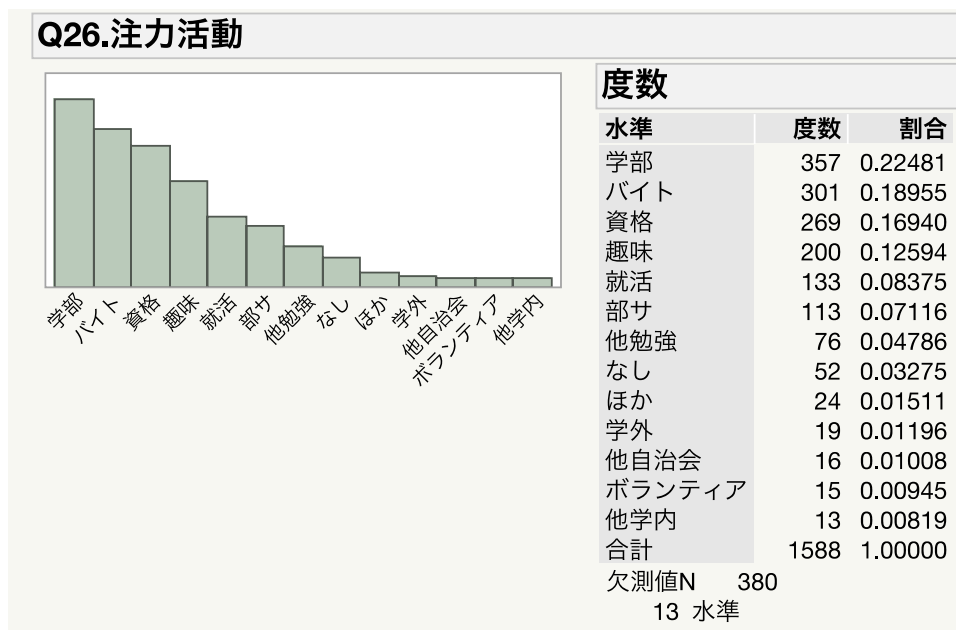
最頻値は 3（1 時間～1 時間 30 分未満）で、約 27%を占める。3 と 4 と 5（通学所要時間が 1 時間以

上)の合計の割合が約57%であり、Q22において約65%が「親元で暮らしている」と回答していることから通学時間の長さとの関連が見てとれる。この傾向は昨年度も確認された。

【取り組んでいること・課外活動】

Q26 現在、特に力を入れて取り組んでいることは何ですか。(主なものを2つまで)

- ① 学部学科の勉強 [学部]
- ② 資格試験の勉強 [資格]
- ③ その他の勉強 [他勉強]
- ④ 部活動・サークル活動 [部サ]
- ⑤ 上記④以外の学生自治会の活動 [他自治会]
- ⑥ そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティの活動 [他学内]
- ⑦ ボランティア活動 [ボランティア]
- ⑧ アルバイト [バイト]
- ⑨ 学外のコミュニティ等の活動 [学外]
- ⑩ 趣味の活動 [趣味]
- ⑩ 就職活動・インターンシップ [就活]
- ⑪ 上記以外 [ほか]
- ⑫ とくに何にも力を入れていない [なし]



全学では、最頻値は「学部」(学部学科の勉強)で、約22%を占め、次いで「バイト」(アルバイト)が約19%であり、約半数の割合が勉強とアルバイトに注力していることがわかる。次に学年別の分布を示す。

学年	学部	バイト	資格	趣味	就活	部サ	他勉強	なし	ほか	学外	他自治	ボラ	他学内
1	26.8	22.1	15.1	12.5	0.5	9.7	4.5	3.4	1.1	1.3	1.3	0.9	0.9
2	27.2	19.3	21.7	11.0	3.6	6.7	4.1	1.9	0.7	1.4	1.0	0.7	0.7
3	19.5	13.3	13.7	6.8	33.8	4.1	3.1	1.7	1.4	0.3	0.7	1.0	0.7
4	5.6	16.7	17.6	23.2	6.9	4.7	9.0	7.3	4.3	1.7	0.9	1.3	0.9

学年別には、「学部」（学部学科の勉強）と「バイト」（アルバイト）の割合が最も高いのは1年生である。一方で最も低いのは4年生であった。学年の順序では4年<3年<2年<1年であり、進級するほど「学部」（学部学科の勉強）と「バイト」（アルバイト）の割合が減少していることがわかる。なお、「就活」（就職活動・インターンシップ）が最も高いのは3年生で、「趣味」（趣味の活動）や「他勉強」（その他の勉強）が最も高いのは4年生である。

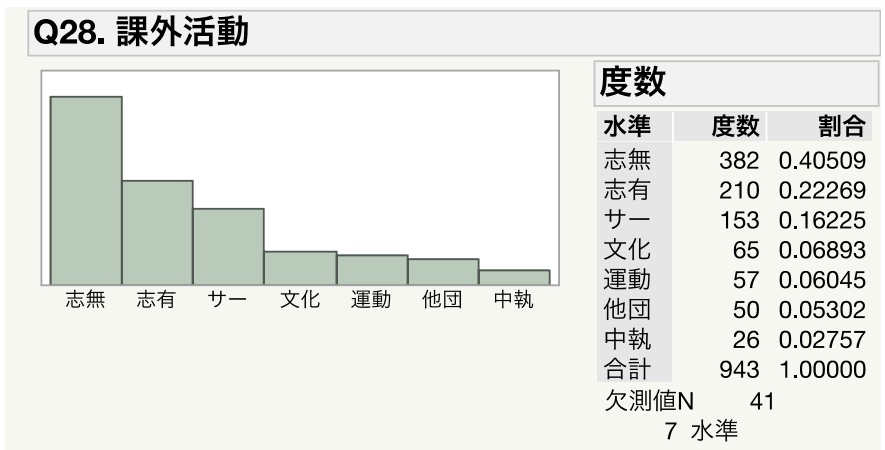
**Q27 Q25で「⑫上記以外」を選んだ方は、その内容について教えてください。（自由記述）**

Q25で「⑫上記以外」を選んだ学生は31名おり、そのうち29名がQ27に実質的なコメントを書いていた。大まかに分類すると、自己研鑽に関連すること（習い事、資格学習、学部学科以外の学習等）が10件、卒業後の進路に関連すること（就職のための準備、芸能活動等）が8件、大学に関連すること（留学、ゼミ活動、論文執筆等）が8件、その他が3件であった。自らのスキルアップに励んでいる趣旨のコメントが多かった。

**Q28 現在、学内の課外活動団体等（部活動・サークル活動・委員会活動等）に所属していますか。主に活動しているものを選んでください。引退した方は「所属している」ものとしてお答えください。**

※組織：文化団体連合会・体育連合会・大東祭実行委員会・放送協会・全学応援團

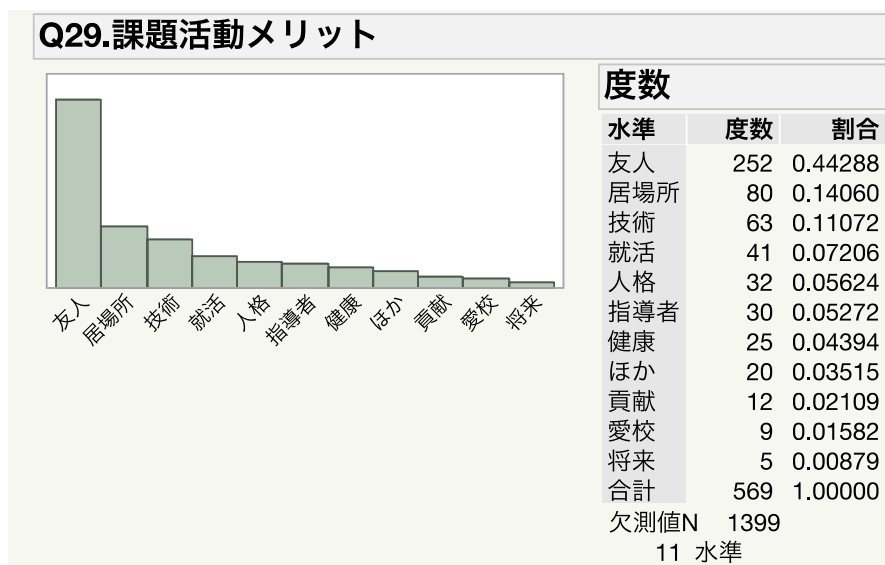
- ①中央執行委員会・組織※・機関に所属している [中執]
- ②運動部に所属している [運動]
- ③文化部に所属している [文化]
- ④サークルに所属している（公認・非公認問わず） [サー]
- ⑤そのほかの団体・委員会等大学内のコミュニティに所属している [他団]
- ⑥所属する意志はあるが、所属していない [志有]
- ⑦所属する意志がなく、所属していない [志無]



最頻値は、「志無」(所属する意志がなく、所属していない)が41%で、次いで「志有」(所属する意志はあるが、所属していない)が22%だった。合計すると、63%の割合で課外活動に参加していないことが見てとれる。コロナ禍による活動の制限が昨年度と比較して緩和された2022年度においても、課外活動に参加していないとの回答が依然として高率になっていることには注意したい。

Q29 Q28で①～⑤を選んだ方は、課外活動で良かったと思うことを教えてください。(主なものを2つまで)

- ①よい指導者に出会えた [指導者]
- ②友人を得た [友人]
- ③居場所・帰属感を得た [居場所]
- ④愛校心を持つことができた [愛校]
- ⑤技術や知識の向上に役立った [技術]
- ⑥社会貢献ができた [貢献]
- ⑦人格形成に役立った [人格]
- ⑧健康増進に役立った [健康]
- ⑨将来の夢が持てた [将来]
- ⑩就職活動に役立った(役立ちそう) [就活]
- ⑪その他 [ほか]

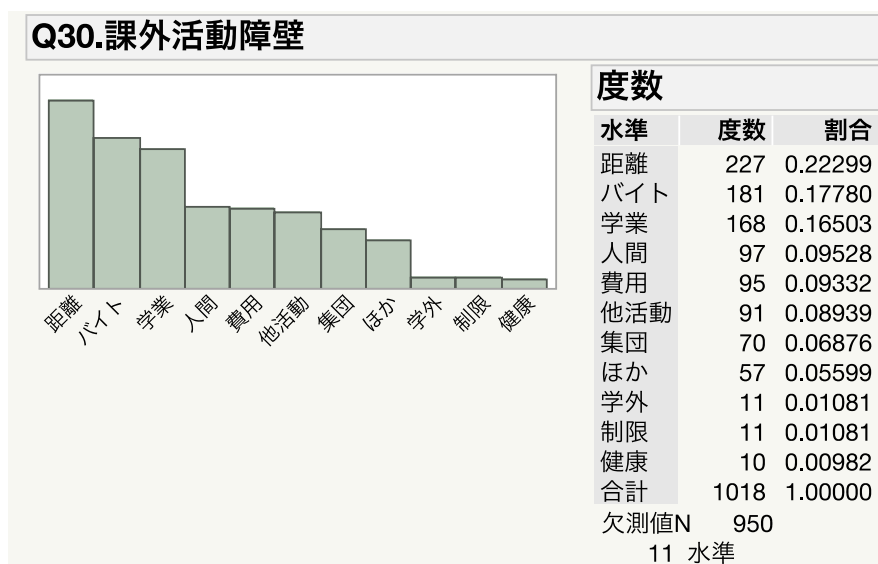


最も頻度が高いのは「友人」(友人を得た)である。上の表で「割合」とあるのは、すべての回答を1.00としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は359人であり、回答した人数に対する割合で見ると、回答者の約70%が「友人」(友人を得た)を挙げていたことがわかる。このことから、共通の課外活動を通じた交友関係の構築に利点を感じた学生の割合が高かったことがうかがえる。

Q30 Q28で⑥～⑦を選んだ方は、課外活動を行うことや、団体への入部や参加を考えるうえで障壁になること、

抵抗を感じることは何ですか。(主なものを2つまで)

- ①通学距離との関係 [距離]
- ②学業との両立 [学業]
- ③アルバイトとの両立 [バイト]
- ④人間関係 [人間]
- ⑤集団生活に拘束されること [集団]
- ⑥費用がかかる [費用]
- ⑦怪我や健康面 [健康]
- ⑧学外の団体の方がいい [学外]
- ⑨ほかにやりたいことがある [他活動]
- ⑩入部制限がある [制限]
- ⑪その他 [ほか]



最も頻度が高いのは「距離」（通学距離との関係）である。この項目に回答した人数は 616 人であり、回答した人数に対する割合で見ると、約 37%が「距離」（通学距離との関係）を挙げていることがわかる。次いで、「バイト」（アルバイトとの両立）が約 29%、「学業」（学業との両立）が約 27%と続いている。昨年度と比較し、「バイト」と「学業」の回答率が逆転しているものの、引き続き自身の学生生活と両立することに障壁を感じて課外活動に参加できない学生が多いことがうかがえる。

**【不安・悩み】**

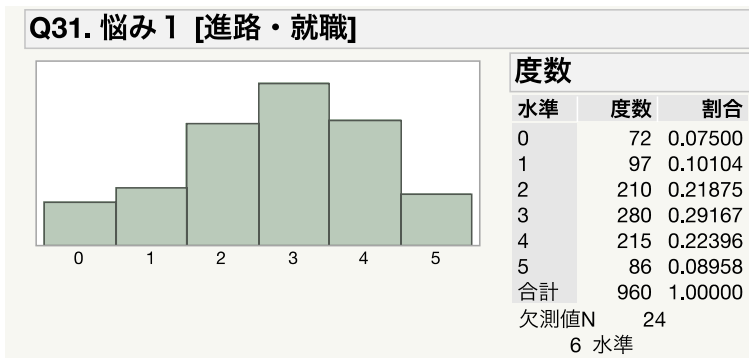
Q31 次のそれぞれの事項に対する不安や悩みはどの程度ですか。0(不安なし)～5(耐え難いほど)の 6 段階で選んでください。

0 (不安なし) 1 (少し) 2 (多少) 3 (かなり) 4 (非常に) 5 (耐え難いほど)

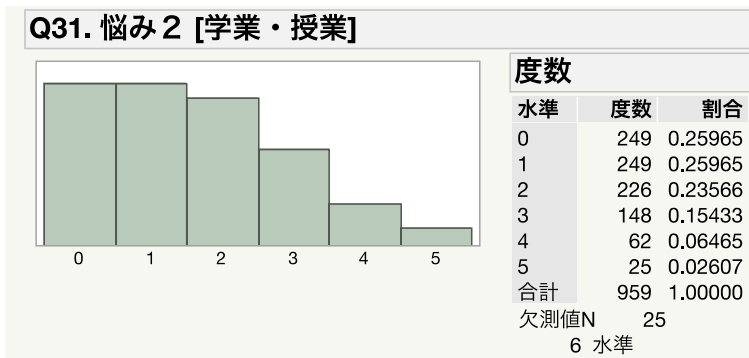
- ①進路・就職
- ②学業・授業

- ③留学
- ④心身の健康
- ⑤アルバイト先での問題
- ⑥経済的問題
- ⑦対人・友人関係
- ⑧課外活動
- ⑨家族関係
- ⑩性の悩み
- ⑪恋愛の悩み
- ⑬ 性格・能力
- ⑭ 人生観
- ⑭ ハラスメント

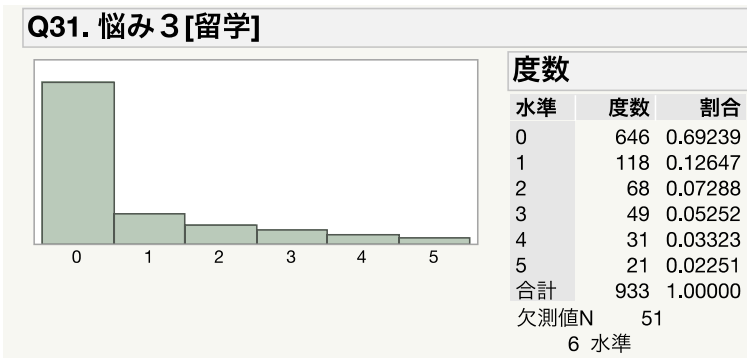
<進路・就職>



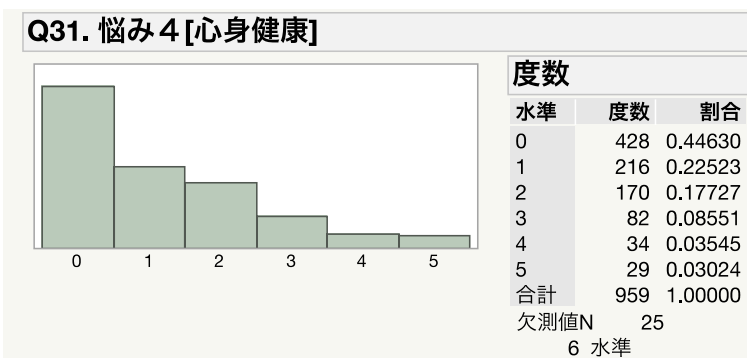
<学業・授業>



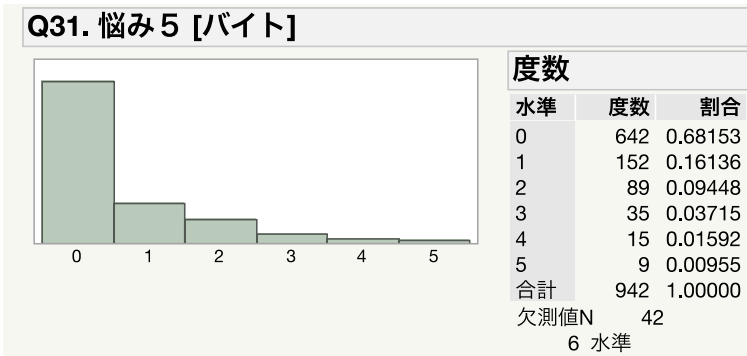
<留学>



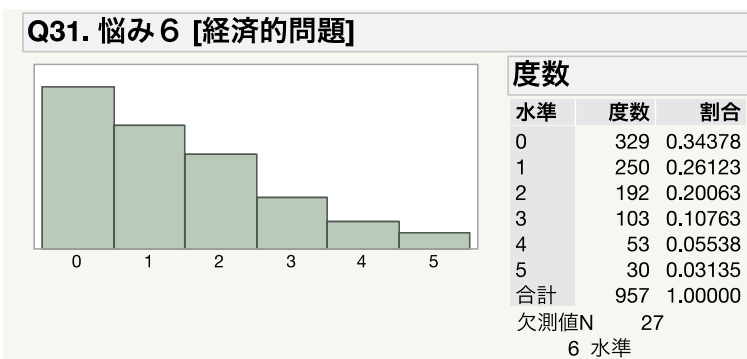
<心身の健康>



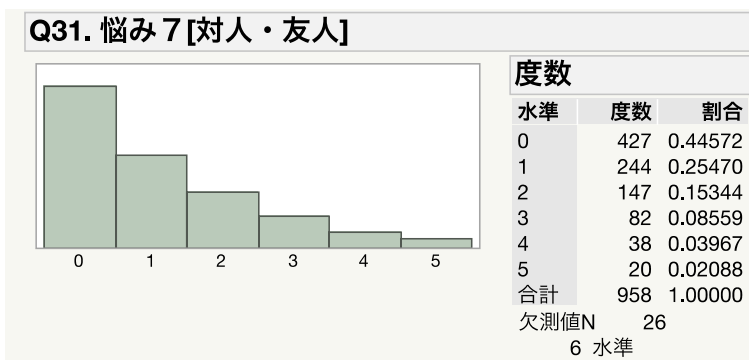
<アルバイト先での問題>



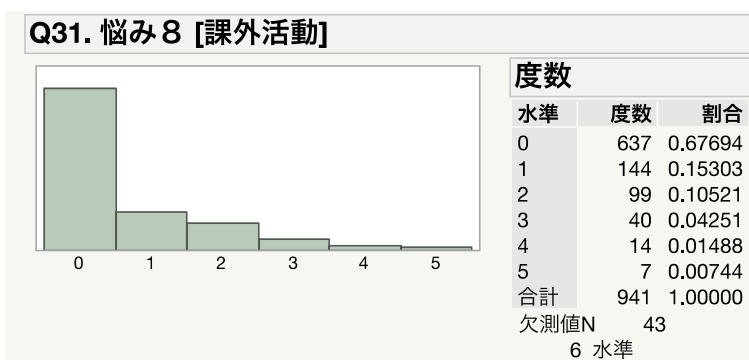
<経済的問題>



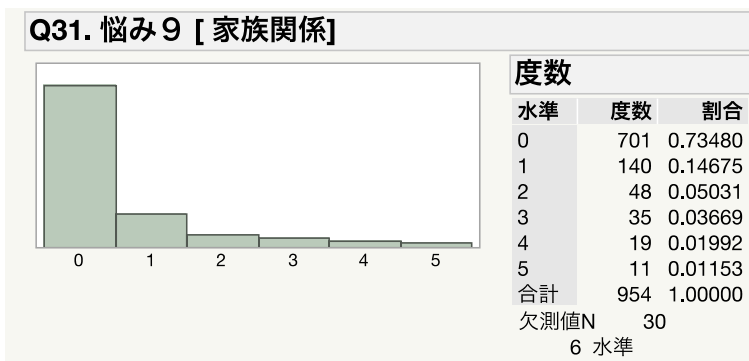
<対人・友人関係>



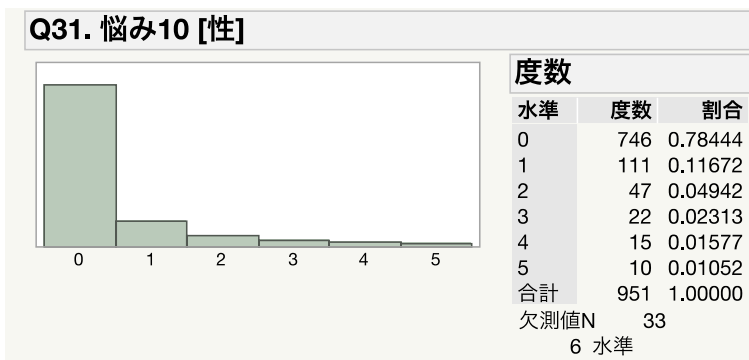
<課外活動>



<家族関係>

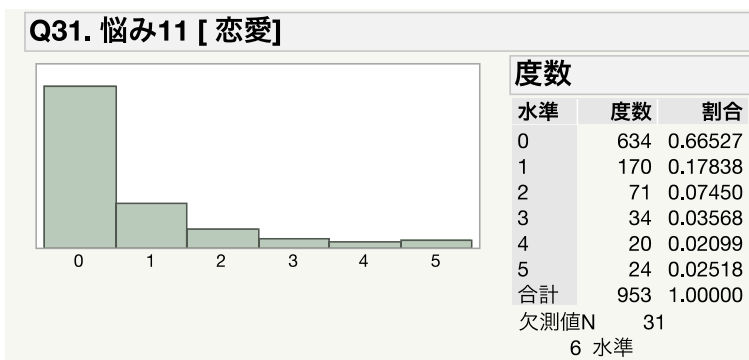


<性の悩み>

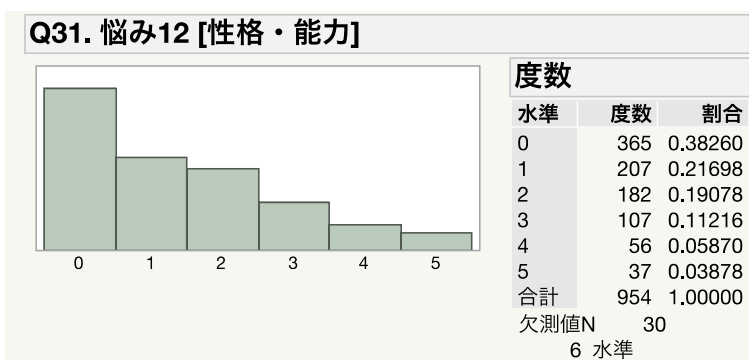




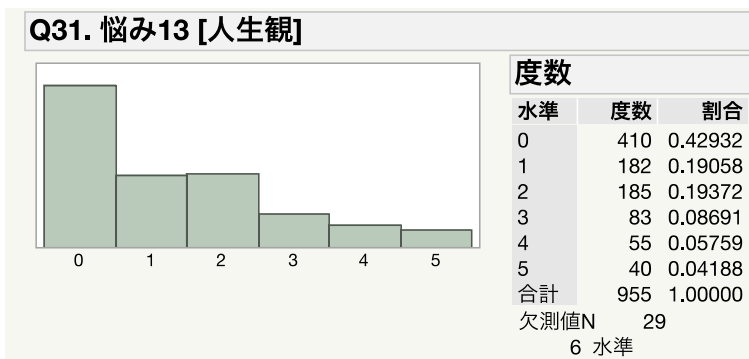
<恋愛の悩み>



<性格・能力>



<人生観>



<ハラスメント>



<平均値と標準偏差の一覧>

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	平均の上側95%	平均の下側95%
悩み1	[進路・就職]	960	2.76	1.35	0.04	2.84	2.67
悩み2	[学業・授業]	959	1.58	1.33	0.04	1.67	1.50
悩み3	[留学]	933	0.68	1.24	0.04	0.75	0.60
悩み4	[心身健康]	959	1.13	1.32	0.04	1.21	1.05
悩み5	[バイト]	942	0.57	1.02	0.03	0.64	0.51
悩み6	[経済的問題]	957	1.36	1.36	0.04	1.45	1.28
悩み7	[対人・友人]	958	1.08	1.28	0.04	1.16	1.00
悩み8	[課外活動]	941	0.59	1.02	0.03	0.65	0.52
悩み9	[家族関係]	954	0.49	1.02	0.03	0.56	0.43
悩み10	[性]	951	0.40	0.94	0.03	0.46	0.34
悩み11	[恋愛]	953	0.64	1.16	0.04	0.72	0.57
悩み12	[性格・能力]	954	1.36	1.43	0.05	1.45	1.27
悩み13	[人生観]	955	1.28	1.44	0.05	1.37	1.19
悩み14	[ハラスメント]	945	0.17	0.63	0.02	0.21	0.13

参考：2021年度

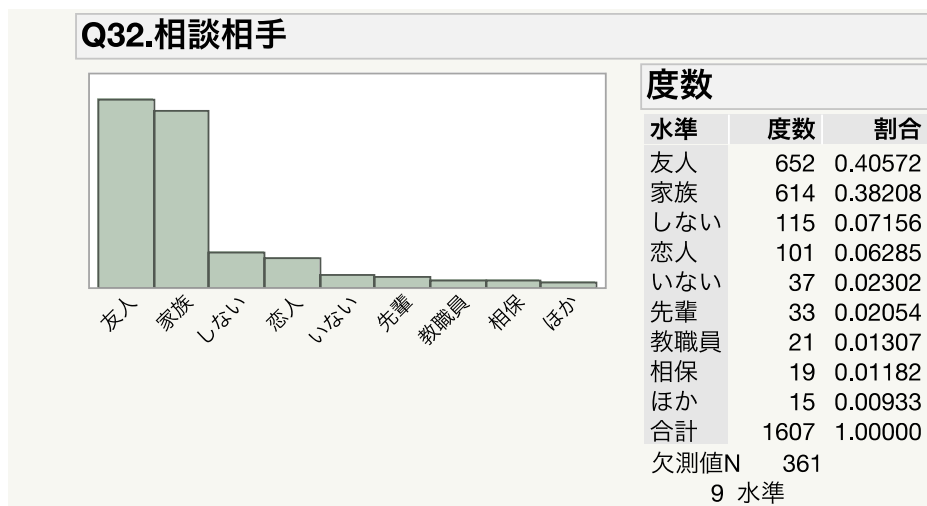
	平均	標準偏差
Q30. 悩み1 [進路・就職]	2.99	1.35
Q30. 悩み2 [学業・授業]	1.90	1.39
Q30. 悩み3 [留学]	0.73	1.25
Q30. 悩み4 [心身健康]	1.22	1.39
Q30. 悩み5 [バイト]	0.58	1.02
Q30. 悩み6 [経済的問題]	1.43	1.44
Q30. 悩み7 [対人・友人]	1.12	1.30
Q30. 悩み8 [課外活動]	0.72	1.15
Q30. 悩み9 [家族関係]	0.48	0.98
Q30. 悩み10 [性]	0.46	1.00
Q30. 悩み11 [恋愛]	0.66	1.13
Q30. 悩み12 [性格・能力]	1.42	1.44
Q30. 悩み13 [人生観]	1.35	1.47
Q30. 悩み14 [ハラスメント]	0.20	0.63

昨年と同様、「進路・就職」の平均値が格段に高い。かなり差はあるが次は「学業・授業」、「経済的問題」、「性格・能力」、「人生観」そして「心身の健康」「対人・友人関係」と続き、ここまでが平均値 1.0 以上である。その他の項目の平均値は 1.0 未満ではあるが、平均値は低くても、ヒストグラムに示したように、すべての項目において 5（耐え難いほど）と回答している学生が人数は少ないながらも存在していることはきちんと認識せねばなるまい。学生支援センターでは HP に「困った時/ヘルプが欲しい時」というページを設け (<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/>)、さまざまなチャンネルを通じて学生の支援を試みているが、そのようなチャンネルについてのより一層の周知を試みたいと考える。

Q32 不安や悩みを相談している相手は誰ですか(主な相手を 2 つまで)

- ①家族 [家族]
- ②友人 [友人]
- ③恋人 [恋人]
- ④先輩 [先輩]

- ⑤大学の教職員 [教職員]
- ⑥学生相談室・保健室 [相保]
- ⑦相談できるひとがない [いない]
- ⑧他人には相談しない [しない]
- ⑨その他 [ほか]



相談相手として「友人」が約41%、「家族」が約38%と圧倒的に割合が大きい。一方で「教職員」（大学の教職員）と「相保」（学生相談室・保健室）については昨年度から改善されず約1%程度に留まっている。この結果をみると、学生の相談がしやすい仕組みづくりに関して、より検討していく必要があると考えられる。

学年	友人	家族	しない	恋人	いない	先輩	教職員	ほか	相保
1	39.9	38.8	7.4	6.6	2.1	2.2	1.3	0.8	1.0
2	42.7	37.1	7.1	6.1	2.7	2.2	1.0	0.5	0.7
3	39.0	39.7	6.9	5.1	2.1	1.4	1.7	2.1	2.1
4	40.7	37.0	7.0	7.0	2.6	2.2	1.1	0.7	1.5

「友人」と「家族」の割合については、学年別にみても特段の違いは認められない。しかし、「相保」（学生相談室・保健室）と「教職員」（大学の教職員）については、3・4年生に比べて1・2年生の割合が低いことが気になるところである。

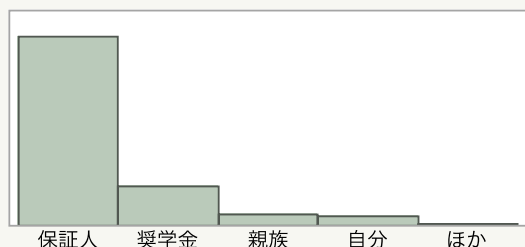
**【経済状態・アルバイト】**

Q33 学費の金額を最も多く負担しているのは次のどれですか。

- ①保証人（親など） [保証人]
- ②自分 [自分]

- ③奨学金 [奨学金]
- ④祖父母等親族 [親族]
- ⑤その他 [ほか]

### Q33. 学費負担者



#### 度数

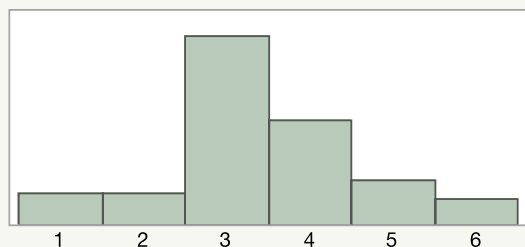
水準	度数	割合
保証人	740	0.77325
奨学金	146	0.15256
親族	38	0.03971
自分	32	0.03344
ほか	1	0.00104
合計	957	1.00000
欠測値N	27	
5 水準		

最頻値は「保証人」（保証人（親など））で約 77%であった。次いで「奨学金」が約 15%と続き、合計して約 93%を占めている。一方で全体の約 3%が「自分」であり、学費を自身で支弁していることがわかる。

### Q34 現在の家庭の経済状況はいかがですか。

- ①余裕がある
- ②やや余裕がある
- ③普通
- ④やや苦しい
- ⑤苦しい
- ⑥不明

### Q34. 経済状況



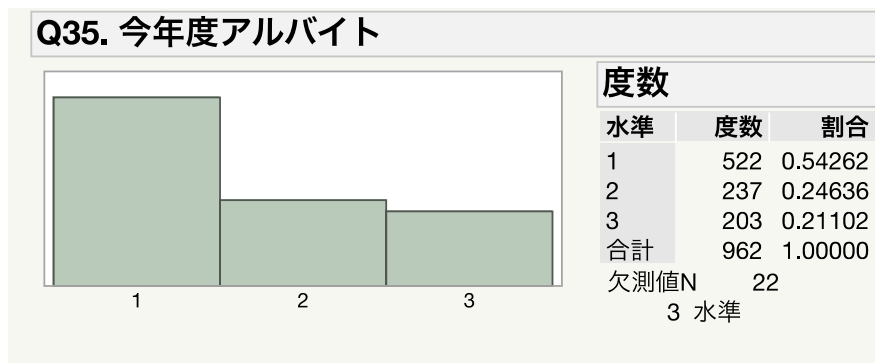
#### 度数

水準	度数	割合
1	70	0.07284
2	68	0.07076
3	432	0.44953
4	237	0.24662
5	100	0.10406
6	54	0.05619
合計	961	1.00000
欠測値N	23	
6 水準		

最頻値は3（普通）で約 45%である。なお、4（やや苦しい）と5（苦しい）をあわせると約 35%が経済状況について苦しいと回答していることがわかる。

Q35 今年度のアルバイトについて選んでください。

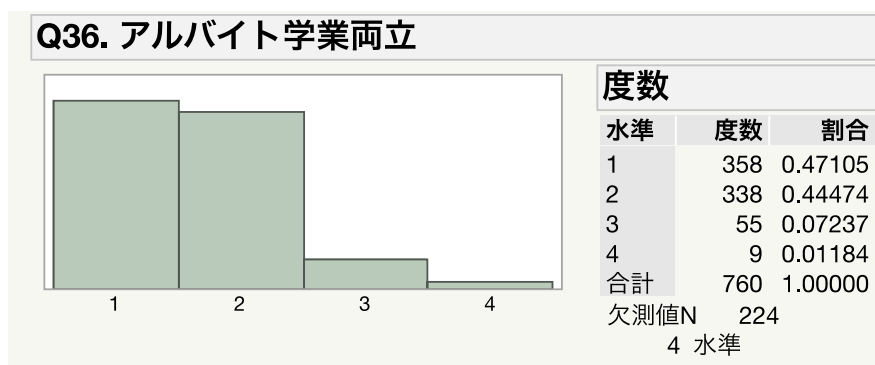
- ①常時している／いた
- ②時々している／いた
- ③していない



最頻値は1（常時している／いた）で約54%であった。

Q 36 Q35で①～②を選んだ方は、アルバイトと学業の両立はできていますか。

- ①できている
- ②ある程度できている
- ③あまりできていない
- ④まったくできていない

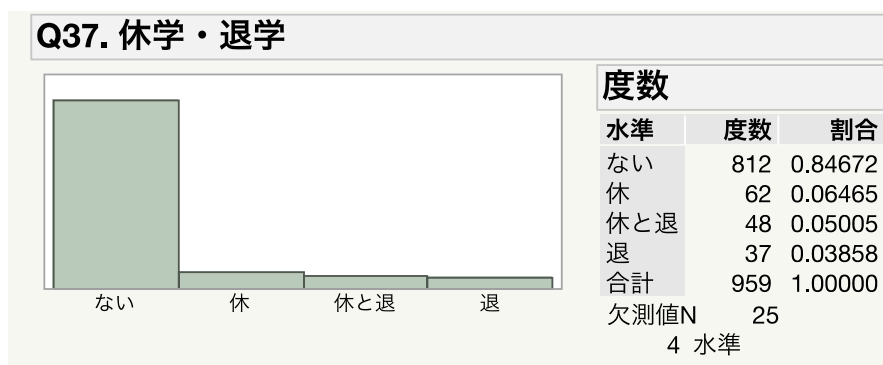


1（できている）と2（ある程度できている）を合わせると、約92%の学生についてアルバイトと学業の両立ができていることが見てとれる。ただし一方で3（あまりできていない）と4（まったくできていない）の割合を合わせると、約8%の学生がアルバイトによって学業に支障をきたしていることが気になる。奨学金などの支援制度の利用促進や、金銭面を理由とした修学継続に関する悩み相談がしやすい仕組みづくりの必要性がうかがえる。

【休学・退学】

Q37 休学や退学を考えたことがありますか

- ①休学を考えたことがあるが退学を考えたことはない [休]
- ②退学を考えたことがあるが休学を考えたことはない [退]
- ③休学と退学の両方を考えたことがある [休と退]
- ④休学も退学も考えたことがない [ない]

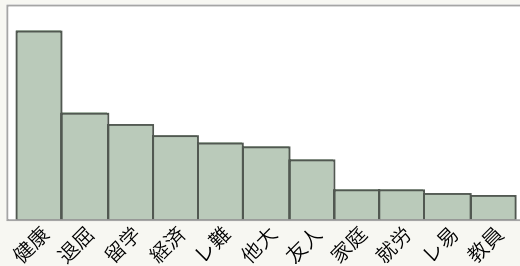


最頻値は「ない」（休学も退学も考えたことがない）で約 85%であった。一方で、昨年度より減少したものの全体の約 15%の学生が休学もしくは退学を検討したことがあるとわかる。

Q38 Q37 で①～③を選んだ方は、その理由を教えてください(主なものを 2 つまで)

- ①授業が難しい／成績が振るわない等 [レ難]
- ②授業が易しすぎる／授業のレベルに不満である等 [レ易]
- ③授業に興味を持たない／授業がつまらない等 [退屈]
- ④教員とうまくいかない等 [教員]
- ⑤大学で友人関係がうまくいかない等 [友人]
- ⑥経済的事情 [経済]
- ⑦家庭の事情 [家庭]
- ⑧心身の健康面 [健康]
- ⑨留学・ワーキングホリデーのため等 [留学]
- ⑩他大学への入学・入学 [他大]
- ⑪働きたい [就労]

### Q38.休学・退学理由



#### 度数

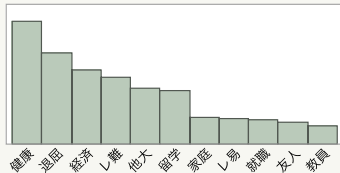
水準	度数	割合
健康	52	0.24074
退屈	29	0.13426
留学	26	0.12037
経済	23	0.10648
し難	21	0.09722
他大	20	0.09259
友人	16	0.07407
家庭	8	0.03704
就労	8	0.03704
し易	7	0.03241
教員	6	0.02778
合計	216	1.00000

欠測値N 1752

11 水準

参考：2021 年度

### Q37. 休学退学理由



#### 度数

水準	度数	割合
健康	96	0.21477
退屈	71	0.15884
経済	58	0.12975
し難	52	0.11633
他大	43	0.09620
留学	41	0.09172
家庭	20	0.04474
し易	19	0.04251
就職	18	0.04027
友人	16	0.03579
教員	13	0.02908
合計	447	1.00000

欠測値N 3197

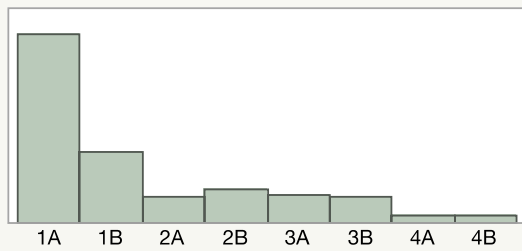
11 水準

Q37.において、休学もしくは退学を考えたことがあると回答した学生は102人であり、回答した人数に対する割合を見てみると、「健康」（心身の健康面）が約51%であった。次いで「退屈」（授業に興味を持たない／授業がつまらない等）が約28%と続いており、昨年度と同じ回答が高率になっている。

Q39 Q37で①～③を選んだ方は、最初に考え始めた時期はいつ頃ですか。

- ① 1年次前期（夏休みを含む） [1 A]
- ② 1年次後期（春休みを含む） [1 B]
- ③ 2年次前期（夏休みを含む） [2 A]
- ④ 2年次後期（春休みを含む） [2 B]
- ⑤ 3年次前期（夏休みを含む） [3 A]
- ⑥ 3年次後期（春休みを含む） [3 B]
- ⑦ 4年次前期（夏休みを含む） [4 A]
- ⑧ 4年次後期（春休みを含む） [4 B]

### Q39. 休学・退学時期



#### 度数

水準	度数	割合
1A	63	0.50000
1B	23	0.18254
2A	8	0.06349
2B	11	0.08730
3A	9	0.07143
3B	8	0.06349
4A	2	0.01587
4B	2	0.01587
合計	126	1.00000
欠測値N	858	
8 水準		

1A（1年次前期（夏休みを含む））の回答が最も多く、学年があがるごとに減少していることが観察できる。1年次の回答の割合が突出して高いことは昨年度も確認できた傾向であり、注意したい。



## 10. 本学への意見等 [自由記述]

このセクションでは、Q40（本学への意見等）に対する自由記述の結果を報告する。

Q40 本学への意見等、自由に書いてください。

「特にありません」に類するものが13件。それを除いて実質的なコメントを書いたものが227件あった。それらを1件毎に精査し、言及している内容で分類し帰納的にラベル（下位コード）を付与していった。1件の中で複数の内容に言及しているものは複数の下位コードを付与した。類似の内容はひとつの上位コードにまとめた。以下、コード毎に該当件数によって降順にソートして示す。

### <全体的な分布>

▼ ● 📁 コードシステム	361
> ● 📁 施設／設備について	123
> ● 📁 授業について	76
> ● 📁 大学全体の印象について	38
> ● 📁 学生へのサポートについて	22
> ● 📁 学費・経済面について	14
> ● 📁 コロナ禍について	11
> ● 📁 課外活動について	10
● 📁 自身の決意・自身に対する戒め	9
> ● 📁 立地について	8
● 📁 特定の部局・教職員に係る不満の表明	8
> ● 📁 友人との関係について	7
> ● 📁 学生のマナー	7
> ● 📁 ダイバーシティについて	5
> ● 📁 創立100周年について	5
● 📁 学生の意見の吸い上げに関する要望	5
● 📁 学内の情報へのアクセスに関する要望	5
● 📁 学内システムへの不満・要望	4
> ● 📁 アンケート調査について	4

全該当件数 361 のなかで施設／設備についての意見が最も多く、昨年度と比較して有意に増加していた。次いで、授業について、大学全体の印象について、学生へのサポートについて、の声が多かった。以下、それぞれの上位コードを展開した下位コードの分布を示す。

## <施設／設備について>

▼ ● 施設／設備について	0
> ● 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	25
● スクールバスに関する不満・要望	23
● Wi-Fi環境に関する不満・要望	21
● 飲食物施設に関する不満・要望	19
● 施設がよい・満足だ	9
● 設備に関する不満・要望	9
● 空調設備・気温調節に関する不満・要望	7
● トイレの設備・備品に関する不満・要望	5
● 板橋校舎の工事に関する不満・要望	5

施設／設備を新たに使用したいという要望や、範囲を拡張して欲しい、利用時間を延長して欲しいという意見が最も多かった。具体的な内容は以下の通りである。

▼ ● 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	0
● 雨風をしのげる場所がほしい	3
● ロッカーがほしい	3
● コンビニエンスストアを増やしてほしい	3
● トレーニングルーム・ジムを使いたい	2
● 課外活動で使用できる施設を増やしてほしい	2
● 屋根を大きくしてほしい	2
● 自習スペースを増やしてほしい	2
● エスカレーターを設置してほしい・階段が多い	2
● 休憩スペースがほしい	2
● 図書館の利用時間を長くしてほしい	1
● 給湯器がほしい	1
● ウォーターサーバーを設置してほしい	1
● 公衆電話がほしい	1

次いで多かったのは、スクールバスに関する意見である。特に目立ったのが、運転手やスタッフの態度に関する声で、昨年度と比較して圧倒的に増加している。続いて多かったのは、運行本数、混雑に関するコメントだった。

■バス乗り場での怒鳴るような警備員さんの対応が本当に怖かったです。バスでの通学が苦痛でした。

■テストの際に、遅れないようにと電車やバスのことを考えると不安になる。バスの増便を希望します。

■バスが混むのが嫌です

(原文ママ)

続いて多く見られたのは、Wi-Fi 環境が悪いという意見だった。

■Wi-Fi が弱すぎて、使い物になりません。現在の通信環境では、オンライン設備が備わっているとは言えないと感じました。サーバーの強化又は Wi-Fi のアクセスポイントを倍以上に増やしてほしいです。

■とにかくWiFi 環境の改善を早急に行ってもらえれば言うことなしです。

(原文ママ)

次いで、食堂等の飲食物提供施設に関する不満・要望が多かった。

■学食は席の数が少ない上、メニューも少ないのであの学生数が同じ時間にすれば長蛇の列ができすぐに売り切れることは間違い無いですよ。せつかく学食という安くて学生特権のものなのに食べられず、結局は近くの飲食店まで足を伸ばして少し高いご飯を食べることになる。もうコロナは第5類になるのだから、1号館の地下1階の食堂？も開くべきである。

■食堂のメニューが少なく、値段が高いのを改善して欲しい。

■東松山キャンパスのように板橋キャンパスにもキッチンカーがあるといいと思います

(原文ママ)

#### <授業について>

▼ ● 授業について	0
> ● 授業内容への不満・要望	21
● 教員に対する不満・要望	12
● 諸々の決定・通知に関する不満・要望	9
● 評価への不満・要望	9
● 授業に満足している	8
● 時間割・単位の設定に関する不満・要望	8
● 教員に満足している	6
● 講義数・種類に関する不満・要望	3

授業については、授業内容への不満・要望の声が最も多かった。特に、オンライン授業を増やして欲しいという意見が多く見られた一方、オンライン授業に対する不満の声も少数ではあったが確認できた。その他、授業内容に関するコメントを以下に挙げる。

■授業をもっと魅力的なものにしてほしいです。YouTube を垂れ流すだけの授業もありました。

■1年次に必修の\*\*\*\*\* (学生支援センター注:講義名)はレジユメの内容を読んでいるだけに過ぎないように感じた。

■授業内容や担当教員の魅力についてはかなりの差があり、同じ科目が出席番号で割り振られた時に、学生間の中でも大きく影響を受けた。

■もう少し授業内でグループ活動をして欲しい。友達がいないので、話す場を設けて友達を作りたい。

■授業のペアワークを減らして欲しいです。

(原文ママ)

対面形式の授業へ移行したこともあってか、映像や資料を見る受動的な授業方法への不満や、グループ活動を伴う能動的な学びに関する要望が寄せられた。一方で、「ペアワークを減らして欲しい」との回答も少数ではあるが確認でき、希望を細やかに把握し、より多くの学生が充実した学びを得る工夫が求められる。

次いで、教員に対する不満・要望、諸々の決定およびその内容の通知をもっと早くして欲しいという声、評価に関する不満・要望が多かった。具体的な記述を以下に示す。

■学生の意見を尊重する教員もいるが、教員側がこちらに対し偉そうな発言や人間として失礼な発言をしたり(私の話を遮り最後まで話を聞かずに自分の言い分を少々強く押し付ける、怒鳴ったりするなど)態度が悪かったりと不快な思いをして学生生活の質が大変下がり、学生生活に大変不安を感じている。

■全体的に通知を早くしてほしい。テストの時間割など特に、バイトのシフトの関係的に早めに出してくれると予定を出しやすいので。一か月前には出してほしい。早めに決められない理由があるなら、教えてほしい。

■以前、授業には出ているのにも関わらず、manabaで課題を提出しなかったため、欠席扱いになってしまいました。授業に出なくても、課題を出せば出席になってしまうと、授業に参加しなくてもよいという考える学生が増えるのではないかと思います。今回、課題の提出しを忘れたのは、自分自身の問題ですが、90分間しっかりと授業を聞いていたのにも関わらず課題提出をしなかったという理由で、欠席扱いになってしまうことに少し納得がいきません。

(原文ママ)

#### <大学全体の印象について>

▼ ● 大学全体の印象について	0
● 大学に満足だ・入学して良かった・充実していた	24
● 本学は学歴に関する社会の評価や「偏差値」が低い	5
● 魅力が増すよう大学には努力してほしい	4
● 入学時に抱いていたイメージよりよい大学だった	3
● 不満だ	2

大学全体に関わるコメントとしては、昨年度に引き続き、「入学して良かった」「充実していた」といった肯定的なコメントと、大学名に関する世間的な評価に苦しむコメントのいずれも、依然として確認された。「入学当初は希望の大学に入れなかったことや、いわゆる『学歴フィルター』に不安を感じていたが、大学生活を送ってみたら楽しかった」、あるいは、「入学してみたら意外に良い大学だと感じたが、大学名に対する世間の評価が高くないのが辛い」という要約が多くの学生に当てはまると考えられる。

■受験で落ちて大東に来たので、学生生活の始めはマイナスな気持ちでしたが、大学生活が思いのほか楽しくて充実しており、この大学に来たことも運命だな、と思うようになりました。高校生の自分に自慢したいくらい、楽しい4年間でした。

■ちょうど1年前の頃は、大学も決まっておらず、不安であった。入学を決め、大学生活に期待すると同時に、不安が募るばかりであった。しかし、授業が始まってみるとそんな不安も吹っ飛んだ。初日から仲良くなった友人は、いまでは課題を教え合ったり、他愛もないことで長電話したりする仲だ。また、ひよんなことから同じ学科の留学生と仲良くなり、それをきっかけにほかの留学生とも交流するようになった。サークルや部会では先輩にも恵まれ、楽しく活動している。1年前の自分が見たら、日々の充実さにとても驚くことだろう。この学校に入学して本当に良かったと思う。

■入学時はここが第一希望で学びたいことが合った反面、学歴フィルターについても考えてしまい、期待と不安の半々だった。しかし授業や友人との出会い、スピーチコンテストや現地研修(オンライン)での活動を通して、自分と大東が好きになった。あと一年で卒業ですがたくさん学んで楽しんで悔いなく先へ進もうと思う。

■知名度や偏差値を上げるために何か、他大学と比較したときに強みになる物事に取り組みたいのでそういった要素を追加してほしい。

■普通もしくは普通以下の人たちが通う学校  
(原文ママ)

<学生へのサポートについて>

▼ ●🗨️ 学生へのサポートについて	0
●🗨️ 学生へのサポートへの不満・要望	13
●🗨️ サポート・対応に満足している	9

サポート・対応に満足しているという声があった一方、不満・要望も見られた。具体的な記述を以下に示す。

■キャリアセンターの方達の温かいお言葉や、質の高い講義などにはとても感謝していますし、ここまで来れたのも大東文化大学の教職員の方々のおかげです。#引き続きお世話になります。よろしく願いいたします。いつも感謝しています。

■コロナの影響でうつを発症してしまいましたが、優しい先生方のおかげで、3年生から立ち直ることができ感謝しています。

■学生相談室の存在がとても支えになりました。様々な制度、設備、サポート等のおかげで、4年間とても過ごしやすかったです。本当に有難うございました。

■コロナ禍に入ってから相談出来る所が減り、本当に辛かったです。相談しても職員さん達に余裕が無いのかきつく当たられることも多々あり、不信感が募りました。心身の調子を崩して学内カウンセリングにかかったときも、不適切な対応をされました。また、ハラスメントについて相談した時も「その先生の個性」と言われて自分の傷ついた気持ちを蔑ろにされた経験がありました。キャリア支援課での卒業後の進路のフォローも充分とは思えませんでした。進学という選択肢が最初からなく、就職以外の支援が皆無でした。

■キャリアセンターのキャリアアドバイザーの人数をもう少し増やしてほしいです。予約が一週間以上先になることが多々あり、ES等の添削が間に合わないこともあります。上記が難しければ、職員対応の枠を増やして頂くだけでも、多少は状況も変わるかなと思いました。

■大学側としては学生活動(サークル部活)への協力性は低いのではと考えられる部分もある。現在コロナ禍の被害にあい活動が制限され部員の数が少なくなっており学生自治会の崩壊の危機にあると私は前々から考えている。その危機からの脱却回復をめざし日々活動をしているがその活動の中で大学の臨機応変性の無さに毎回当たってしまう。昔の規定またはその規定から厳しくなってそれを適応させている様子では恐らく学生活動は衰退をし続けるのではないかと思う。

(原文ママ)

上記の回答から、学生と直接関わる機会が多い教員や部署のサポートの質が、対応者によって大きく異なったり、学生による評価に差が出たりしていると考えられる。

また、対面形式の授業への移行が進んだ2022年度においても、依然としてコロナ禍が学生生活や学生の健康に大きな影響を及ぼしている点にも注目すべきだろう。こうした状況下において、すべての学生が均質で十分なサポートを受けられるよう、コメントを真摯に受け止め必要に応じて対応しなければならない。

#### <学費・経済面について>

▼ ●🗳️ 学費・経済面について	0
●🗳️ 経済的に苦しい/学費が高い	9
●🗳️ 施設・設備を使用していないのに学費を支払っている	3
●🗳️ 奨学金を必要な学生に公平に配分してほしい	2

学費・経済面に関して、やはり「経済的に苦しい」、「学費が高い」という声が多かった。また、2022

年度はほとんどの授業が対面形式で実施されたにも関わらず、2021年度に引き続き、「オンライン授業によって大学の設備が使えない（使えなかった）のに、従来通り学費の納付が求められるのは不適當である」といった声が多かった。入学時から十分に大学の施設・設備やサービスを利用できなかったという不満感が、キャンパスへの通学が可能になった現在においても学生の意識・心理に影を落としている可能性がある。コロナ禍と直接関係ないものとしては、奨学金の配分に関する意見が確認された。

■看護学科の学費が高すぎるため、奨学金のみでは支払うことができず学校以外の時間はほとんどバイトに費やしている。そのため、もう少し学費を安くするか、この大学で利用可能な給付型奨学金をもう少し増やしてほしい。

■学費が高すぎる。学費が高くてもいいサービスなどが受けられると思っていたがそんなことなく、授業の準備が少ない先生や、生徒への対応が適当や雑な職員がいることが非常に残念。

■コロナ禍でオンライン講義になったのにも関わらず学費に変化がなかったことに不満を感じる。せめて施設の費用などのオンライン化によって使用されなかったものに対する費用の削減はできたと思う。仮にそれができなかったとしてもそれが出来ないことに対する説明が不十分だった。

■温故知新奨学金は、各学部各学科における学生数に応じて給付されるべきである。現在の制度では、人数の多い学科は大きく損をしている。各学生に平等なチャンスがないのは、大東文化大学の理念に反しているのではないか。

■奨学金の分類わけの基準を家族の収入量に設定されているため、自分の様に一切家族からの援助がないものは見かけ上は奨学金制度を利用するに値しないが、実際は己のみでやっていかなければいけないのでかなりしんどい。貸与ではなく、給付にしてもらいたい。

(原文ママ)

#### <コロナ禍について>

▼ ●🗨️ コロナ禍について	0
●🗨️ コロナのため大学生活が損なわれた	8
●🗨️ コロナに起因する制限を緩和してほしい	2
●🗨️ コロナの状況が落ち着いて大学生活が改善された	1

コロナ禍によって従来のような大学生活が損なわれて残念だという声に加え、社会情勢に合わせてコロナ禍に伴う制限を緩和して欲しいという要望があった。

■コロナ禍で所属していた文化部の活動が出来ず、ほぼ廃部状態になってしまったのも残念です。

■コロナ関係の規制が厳しすぎる。お世話になった先生にも会えない、校舎にも入れない、世の中の空気やル

ールはどんどん進化しているのに本校だけこんな最後で残念です。

■コロナのせいで本来受けるテストが変わってしまったりしたので、マスク着用の義務化がなくなる今年はテストに関する制限を少し緩和するのはどうでしょうか？

(原文ママ)

#### <課外活動について>

▼ ●● 課外活動について	0
●● 課外活動へのサポートに関する不満・要望	6
●● 使用できる設備を増やしてほしい	2
●● 課外活動に満足だ	2

課外活動については特に、大学によるサポートに関する不満・要望の声が多かった。

■育成運動部にも力を注いで欲しい

■サークル参加への導線を増やして欲しい

■学内の施設や課外活動団体等について知らないことが多いので、それらについて詳しい情報が知りたいなと思いました。

(原文ママ)

コロナ禍に関する回答では、感染拡大の影響で課外活動を含む活動の機会が損なわれたとの指摘があった一方、「サポートを充実させて欲しい」、「課外活動に取り組みたい」という趣旨の要望が確認でき、学生生活に関してコロナ禍からの回復に期待する意識が見られる。

#### <自身の決意・自身に対する戒め>

自分自身の決意表明としては、そのすべてが、気を引き締めて更に努力してゆきたい、といった前向きなものであった。

#### <立地について>

▼ ●● 立地について	0
●● 東松山キャンパスより板橋キャンパスのほうが良い	4
●● 交通機関に関する要望	4

立地については、東松山キャンパスよりも板橋キャンパスに通いたい、という声があった。また、交通機関に関する要望も見られた。具体的な記述を以下に挙げる。



■出来れば1年時から板橋の方が通学距離が短く済んだので、学部ごとに4年間同じキャンパスの方が良いのでは無いかと感じました。

■東武練馬駅のアクセスが少し悪いので、普通だけでなく準急か快速は止まって欲しい。  
(原文ママ)

#### <特定の部局・教職員に係る不満の表明>

特定の部局や教職員に関するコメントについては、該当部局がわかる場合には必要に応じて伝達したうえで対応の必要性の有無の判断を仰ぎたい。

■コロナなのに大学にいけなくなってしまったら「友達に見せてもらえ」という講義があったが、コロナで知り合いがいないのにどうする？欠席してしまったらなす術なし。急に同じ講義の人に話しかけて見せてもらえなんてハードルが高すぎないか？そのような学生はかわいそうであり、それで単位が取れないなんて本末転倒ではないか？このご時世なのに manaba や DB ポータルを有効活用せずに資料の配布をしない。今の時代に全くそぐわないですね。

■教職課程センターとキャリアセンターの職員の対応と態度が悪い。話し方が生徒を見下しているような話し方をしている。職員の対応研修行った方が良くと思う。それぐらい年長に行くに連れて対応が最悪。話を聞いているだけで不愉快。  
(原文ママ)

#### <友人との関係について>

▼ ●🗨️ 友人との関係について	0
●🗨️ 友人に恵まれた	4
●🗨️ 友人に恵まれなかった	3

友人に恵まれたという記述と、友人に恵まれなかったという記述が同数程度確認できた。コロナ禍で損なわれた学生同士の関係性を再構築できるよう、さらなる努力が求められる。

#### <学生のマナー>

▼ ●🗨️ 学生のマナー	0
●🗨️ 他の学生の不適切な行為への指摘	5
●🗨️ 指導が不足している	2

他の学生の不適切な行為への指摘や、それに対する大学の指導不足に関する意見があった。

### <ダイバーシティについて>

▼ ● ④ ダイバーシティについて	0
● ④ 施設のバリアフリー化に取り組んでほしい	4
● ④ 学生の男女比率を同程度にしてほしい	1

施設のバリアフリー化に取り組んで欲しいという意見と、学生のジェンダー比率を改善して欲しいという要望があった。ダイバーシティに関する関心が出てきていることがうかがえ、真摯に受け止め対応する必要がある。

■板橋校舎 3 号館 3 階の東側にも、多目的トイレを設置してほしい。

■色覚障害の生徒に配慮するために、蛍光チョークを導入してほしい。特に赤色は認識しやすく、蛍光チョークの早期導入が求められる。

■階段が少し多いと感じます。バリアフリーなデザインにすることが大事だと思います。

■男女比率をどの学部も同じくらいにして欲しい。男子が多いと差別に感じる。

(原文ママ)

### <創立 100 周年について>

▼ ● ④ 創立100周年について	0
● ④ 100周年に向けてよりよい大学になるとよい	2
● ④ 創立100周年に関する祝い	3

PR の取り組みを一部の学生が認知しているためか、創立 100 周年に関するコメントが寄せられた。大学全体の印象については、本学の世間からの評価が低いことに対する不安の声が寄せられたが、こうした試みによって学生たちがより本学に親しみを感じ、入学したことを誇れるようになることを期待したい。

■現在でも充実した学習環境はありますが、100 周年となる来年度もさらに良い学生生活を送ることのできる場になればと思います。

■大東文化大学学園様、設立 100 周年、心よりお祝い申し上げます。次の 100 年に向け頑張ってください。

(原文ママ)

### <学生の意見の吸い上げに関する要望>

学生の意見を大学の運営に反映させて欲しいとの要望があった。こうした声の根底には、「現状大学側は学生の意見を聞き入れていない」という不満があるといえ、学生の認識を把握し大学の運営に反映さ

せる努力が引き続き求められる。

■学生がいなければ大学は成り立ちませんよね。学生の声をたくさん聞いてたくさん反映させないとどんどん学生数が減っていってしまいますよ。ぜひ、楽天などにある授業の口コミサイトを見てください。他学部も含めて。そうしたら学生のリアルな声が匿名などでたくさん載っていますよ。真摯に声を受け止めるべきです。

■大学生の要望を気軽かつ常時やっているものがなく、大学生の意見が反映されていない気がします。真ん中に文化がある大学かもしれませんが、それよりも生徒を中心としたサービスを提供してほしいです。

(原文ママ)

#### <学内の情報へのアクセスに関する要望>

授業や、大学が提供しているサービス、大学生活、施設・設備等に関する情報が欲しいとのコメントが寄せられた。学生が大学のサービス等を有効活用できるよう、諸々の情報へのアクセスを整える必要がある。

■来年度から変わる新しい授業などを含めて、自分がどんな授業を取れるのか全体像を把握したいので、それがわかる資料が欲しいです。

■現在、就職活動中だが、キャリアセンターの使い方もあまり分かっていないので、説明とかががあると助かると思う。

■先輩の各教科の勉強法が聞けたり、どのように大学生活を送っているか知れる機会が欲しいです。

■学内の施設や課外活動団体等について知らないことが多いので、それらについて詳しい情報が知りたいなと思いました。

(原文ママ)

#### <学内システムへの不満・要望>

DB ポータルや BIND.note 等の学内システムに関する不満・要望があった。

■BIND.note を開くと 3 回に 1 回くらいログインに失敗したりパスワードを入れないといけなくなるのをなんとかしてほしい。

■DB ポータルのスマホ版で使える機能を増やして欲しい

(原文ママ)

## <アンケート調査について>

▼ ●🔍 アンケート調査について	0
●🔍 アンケートに関する情報が不十分だ	2
●🔍 自分の回答に目を通してもらえないのではないかという懸念	2

■このアンケートの URL がメールになくて探したので、URL を貼ってくださるとありがたいです。

■他の学校の実情を知らないので何とも言えないが、東松山校舎の方は wife が弱くきちんと接続されず不快。奨学金の分類わけの基準を家族の収入量に設定されているため、自分の様に一切家族からの援助がないものは見かけ上は奨学金制度を利用するに値しないが、実際は己のみでやっていかなければいけないのでかなりしんどい。貸与ではなく、給付にしてもらいたい。おそらくここに書いても無駄だろうが。

(原文ママ)

アンケート調査について、周知や情報提供が不十分であることに対する指摘、回答に目を通してもらえないのではないかという懸念のコメントがあったことは真摯に受け止めたい。特に後者については、学生の大学に対する信頼に関わる指摘であり、意見の吸い上げに関する要望とも関連して注意が必要だろう。本アンケートの結果についても可能な限り学生の声が反映される方向で働きかけてゆきたい。

以上